昭和二十一年七月二十日第三種郵便物認可 昭和二十一年十一月一日印刷納本 昭和二十一年十一月五日發行 第十四卷 第八號 通卷第百六十六號

映画之友

アメリカ映画専門紹介誌

T. M. REG.

EIGA NO TOMO



Magazine for American Movies

Olivia de Havilland

11

EIGA NO TOMO

Nov. 1946

Vol. 14, No. 8 Whole No. 166

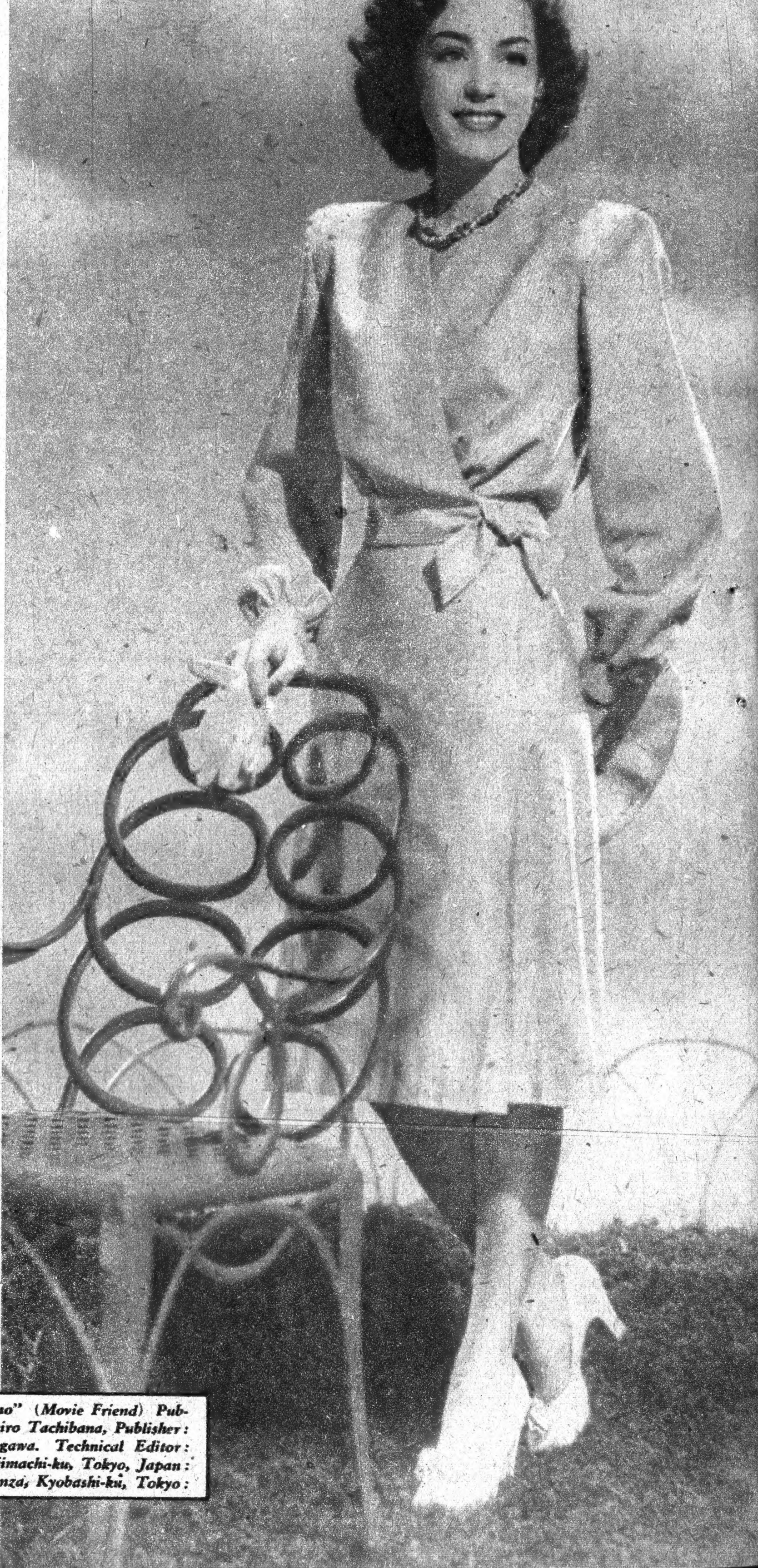
Contents for November, 1946

American Films the Eyes and Ears of the New World!

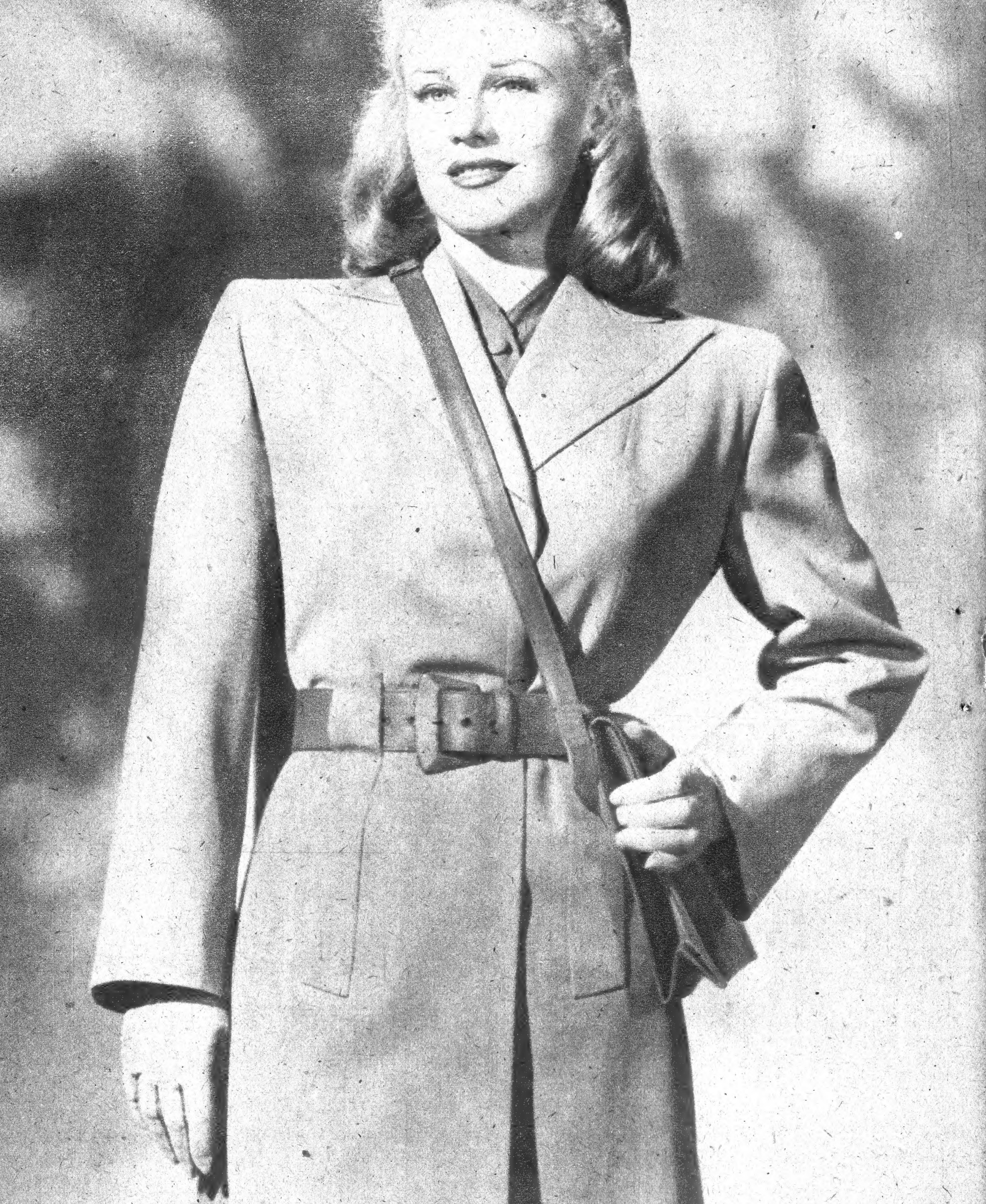
アメリカ映画は新世界の眼だ！耳だ！

Marsha Hunt

マーシャ・ハントの新しい秋の裝ひ――「迷へる天使」でジェームス・グレイグの戀人になつた女優である。



6 *Magazine for American Movies "Eiga no Tomo" (Movie Friend) Published Monthly by Eiga Sekaisha Ltd., Koichiro Tachibana, Publisher: Toyoshi Oguro. Executive Editor: Hiroshi Ogawa. Technical Editor: Head Office: No. 1, 2 chome, Nagatacho, Kojimachi-ku, Tokyo, Japan: Ginza Office: Izumo Bldg., No. 2, 8 chome, Ginza, Kyobashi-ku, Tokyo:*



Pin-up Star ジンジャー・ロジャース *Ginger Rogers*——ワーナーからRKOへ、愉しい数々の音楽映画で、いつも新鮮な魅力を發揮してきた彼女……古くして常に新しく、そして今や大スターとして、コメディにメロドラマに、往くとして可ならざる境地に生きるジンジャー・ロジャース！



Screen Beauty

バーバラ・スタンウィック *Barbara Stanwyck*——ウイリアム・ウェルマンの名作「ソー・ビッグ」の昔から、シャルル・ボアイエの夢の枕に現れた「肉體と幻想」の耳飾りをつけた女にいたるまで、堅實な演技と圓熟せる魅力で不變の人氣を持ち續けてきたバーバラ・スタンウイック！

りしてゐれば、ベビー・パールで結構コンタクスの作品に肉薄しうる。訓練すれば水兵の眼は暗夜に三千米前方が見えるといふ。だが肉眼と電波探知機の相違は如何ともしがたい。だから、學ぶとすれば、まづ科學者の關心をこちらへ向けさせることから始めるべきだ。

兩國の映畫を比較するとき、一概にはいへないけれども、大體においていへる第三のことは、日本映畫が音樂に音痴であることだ。音響効果についても同様のことがいへる。監督の音樂的訓練と、映畫を理解しうる音樂家の協力が必要である。

第四は、日本映畫が何となく線が細く、弱々しいから、もつと壯大にすることだ。日本の藝術は、管絃樂から三味線と笛を孤立させた、あの行きかたが、どの分野にも見られる。日本映畫は人生をもつと幅廣く部厚に掬ひ取ることを學ぶべきである。例へば、群集の掴み方だつて、格段の隔りがあるのである。

第五は、第四に關聯する。日本映畫は、アメリカ映畫のやうに、時には、現實と逞ましく取組むことだ。（むろん私は劇映畫のことをいつてゐる。）現實に眼をそむけた、きれいごとや、作りごとで現實から逃げまはつてゐては、眞に民衆の爲の映畫とはなりえない。世界的にはなりえない。

藝術性に關しては、いはぬが花だ。

（筆者・文藝評論家）

Home of American Movies

by Akira Kurosawa

アメリカの映畫の故鄕

僕の好きな演出家たち

黑澤明

僕は、アメリカの演出家で好きなのは（と云つても映畫の演出家では、アメリカの人が何と云つても一番好きですが）ジョン・フオード、それからキング・ヴイダー、ウイリアム・ウエルマン、フランク・キャプラ、つまり、西部劇の昔から、骨の髓からたゝき上げた人達が好きです。

そのつくる映畫のどこを切つても映畫以外の何物でもないと云ふところが好きなのです。アメリカの映畫精神は此の人達に一番純粋に傳つてゐる様に思ひます。

此の人達を背骨の様にしてアメリカの映畫界は出來上つてゐるのだと思ひます。

他にも多士彩々だと思ひますが此の人達にくらべると、どこか映畫的に見て、まじりつけみたいなものが感じられるやうです。

この人達は、例へば、適當な例が見つからないので恐縮ですが、煙管に例へると「村田」の煙管の様なものだと思ひます。

「村田」の煙管にくらべたら、他のどんな凝つた煙管も泥くさく見える様な、さう云ふ老舗のたゝき上げた業から出るぴたッと來る感じ、それが何とも云へずいゝと思ふのです。

酒ならば、灘の生一本と云ふところでせう。かう云ふ人達が、元氣で第一線に居る限り、アメリカ映畫はビクともしないと思ひます。この人達の作品には、僕等が少年時代に胸を躍らせて見た、活動寫眞の何物にも代へ難い樂しさ嬉しさ美しさが今なほ脈々と生きてゐます。

僕の見た一番新しいジョン・フオードの作品、と云つても實際は舊作に屬する「ロング・ボヤージ・ホーム」のファースト・シーン——その南海の夜の描寫の一見、簡單なカットとカットの組合せの中から迫つて來る胸をしめつける様な船乗りの鄕愁と暑苦しく惱ましい南海の夜の雰圍氣。

とろりとした風一つない海面、ぢつと停つてゐる船、土人の唄聲甲板でぢつとその唄聲を聞いてゐる船員、椰子の木にもたれた土人の女のバスト、この別に氣負つたところもないコンテユニイテイから出て來る吃驚りする程の映畫的な迫力……それを思ひ出す度に、僕は映畫はあれだ〳〵と唸る思ひで居ります。

話がとんだ昔語りになりましたが、近頃、このジョン・フオードだとか、ヴィダーだとか、ウエルマン、キャプラといふ人達の作品を見られないので、この人達について大いに語ることが出來ないのが殘念です。

さて、この人達は一先づおくとして、終戰後に見たアメリカ映畫の演出家の中で好きだつたのは「リンカーン」のジョン・クロムエル、「戀の十日間」のウイリアム・デイターレの二人です。

この二つの作品は、それ〳〵その演出家の溫好な人柄が素直に出て居て、その心がじつくりと受け取れる様な落ち着いた作品が素敵だと思ひました。

結局、演出と云ふ仕事も最後は人間の深さが勝負のしどころなのでせう。

でも、若い時から變に老成ぶつてもはじまらないと思ひます。

たしか、ウイリアム・デイターレと云ふ人も、昔は少しキザな位スマート振つた作品をつくつてゐた様に思ひます。

その人が、「戀の十日間」の、あの二度出て來る食堂のシーンの様な演出の滋味を生む爲めには、年齡の功が必要だつたのだと思ひました。

「リンカーン」の選擧演說のところやラストにも同じ事が云へると思ひます。

來週は、レオ・マッケリイの「我が道を往く」が封切られますが、これはきつといゝものに違ひないと思ひます。

僕はレオ・マッケリイといふ人の仕事も大好きです。

つまり、アメリカの演出家は、ジョン・フオード、キング・ヴィダー、ウイリアム・ウエルマン、フランク・キャプラといふ腕力的な仕事をする人達と、このレオ・マッケリイ、ウイリアム・デイターレ、ジョン・クロムエルといふ理性的な仕事つ振りの人とに大別出來る様に思ふのですが、僕は自分の仕事の性質が似てゐるから前の方の人達がとても好きなのですが、また自分の仕事の性質とは凡そ違ふから、後の方の人達も、とても好きになれると云ふ譯です。

いづれにせよ、アメリカは映畫の故鄕です。どんなアメリカ映畫にも我々がまだ〳〵學びとらなければならないものが澤山含まれてゐると思ひます。

（筆者・東寶映畫演出家）

What We Learn from American Movies

by Kensho Honda

アメリカ映画に學ぶもの

アメリカ映画と日本映画

本多顯彰

アメリカ映画にもいろいろあり一概にはいへない。學ぶといつても、どの個々の映画の、どの部分から學ぶかといふことは、今は見捨てしまつた映画から、記憶を頼りに拾ひ出すことが出來ない。しぜん、私は極めて概括的なことしかいへない。

第一は、學ばうと思つても、當分は學べないことである。それは一口にいふと金をかけることである。アメリカ映画は全世界を市場としてゐるから、莫大な資本を投下しても、成功しさへすれば、回收はさう困難でないから、セットや、ロケイションにも、思ひきつた金をかけることが出來る。日本映画のやうに、金のかかつたセットや、ロケイションのまはりにいつまでもうろうろしてゐるやうなしみつたれなことをしなくてよいから、場面の變化も多く、場面がどつしりしてゐる。トリックについても、その他のことについても、同じことがいへる。

第二は、メカニズムの進歩である。撮影機も、フィルムも、フィルムの操作装置も、録音も、映寫設備も、いづれも大いに學ばなければならないが、これも、根本には金の問題があり、そして、もう一つには、一般科學の立後れの問題がある。

映画のやうな機械と科學に頼らなければならぬ藝術が、日本のやうな科學的後進國において後れてゐるのは當然である。

しかし、メカニズムの立後れは、ある程度まで技術と工夫と訓練とで補へると思ふ。例へば、初心者でもライカやコンタクスを使へばある程度見られる寫眞が出來るがベビー・パールなどになるとさうはゆかぬ。しかし、腕さへしつか



ゲイル・ラッセル
Gail Russell
素敵に明るい感じの美しい女優「桃色の旅行鞄」のヒロインとして紹介済みだ。パラマウントの専屬スターである。

Miscellany Column

ヤルを廻してフト捉へた放送を、摘聲器に切りかへる。甘美な音樂が流れる、キャメラは一つ一つのキャンプを覗いて歩く。

或るキャンプでは足を負傷した兵隊が子供の様なもう一人と音樂に耳をとめる。

「明日はいよいよ仕事がはじまるんだ」

「今は現代戰だ。俺は現代人だ。こんな陸上戰より航空戰がやりたい」

別のキャンプでも、兵隊が音樂にききほれてゐる。

「俺の田舍ぢや、こんな晩はそとに寝轉つてラジオをきいたもんだ。女房の奴は、子供が起きるといつてラジオを止めやがつてな」

「……」

「だが坊主も唄が好きだつた。大好きだと言やがつた。今度歸つたら女房と坊主に……」

「踊る？……いつ……」

相手はだまつてうなづく。

また別のキャンプでは毛布に仔犬を包んで抱いた男がもう一人と口論してゐたが、

「シーッ、あの音樂をきけ」

「……あゝ……殺人か！」

音樂は止んで女のアナウンスが喋言りだす。あなたはこんな甘い音樂をきける故郷の生活を捨てて來て戰爭するのは馬鹿々々しいと思ひませんか、明日は無敵強襲部隊と遭遇するのです、逃げていらつしやい、こちらには綺麗な踊り子が澤山あなたと踊るのを待つてゐます、といふ。敵の謀略放送だつたのだ、スイッチを切れと怒鳴る者もあれば、靜かに女の名をつぶやく兵隊もゐる。

ラジオがきれる。皆思ひ思ひの表情で寝そべつてゐる。或る二人の對話。

「おい、なぜ寝ねえ」「お前は？」「寝られねえ」「俺もだ」「何を考へてる？」「お前は？」「大抵お前と同じことだ」「……」「お前、どうやつて子供を生んだんだ」「……」「さあ、今夜は極彩色の色のついた夢でも見るかな」

そして、翌朝、まだ明けやらぬうちに、兵隊はトラックに乘込む。進發なのだ。



心搏つ人間性の記錄

かうして映画は流れ、彼等の生活は續くのである。隊長は二十六歳のキビキビした男だが、ひどく情にもろい所がある。クリスマスの前日、七面鳥を獲りに行くが、見つけて銃で狙つても、可愛想で撃てなかつたりする、さういふ男である。ワルニッキイ軍曹は理性的で豪膽だ。最も危險な傳令を自ら買つて出たりする。ローマへ近づくことが故郷へ近づくことだと思ふのだつた。

部隊は南イタリイに上陸し、山を超えてローマへ向ふ。

兵卒のドンダロは廢墟の町のカフェで、珍しくも女を見つける。イタリイ語の話せる彼は美しくやさしい彼女の心と融けあつて、熱烈な戀に陷る。だが、ローマへの道は苛酷であつた。隊長に說きかされた彼はうら若い心に鐵の扉を下して現實に立向ふのであつた。ワルニッキイ軍曹に或る日、妻からわが子の聲を吹き込んだレコードが届いた。大騒ぎをしてやつと蓄音器を見つけた彼は、懐しいわが子の聲をきいた。彼は何十遍も繰り返してかけた。しまひには子供の口調まで眞似して全部言へる様になつた。然し飽かずに何遍もかけてゐた。遂に彼は氣が狂つてしまつた。隊長は哀れみながら彼を病院へ送らねばならなかつた。或る日、隊長のワスコウ大尉と一緒に偵察に出かけた。だが、それが彼等の最後であつた。ドンダロが、隊長を驟馬にのせて歸つて來た。皆は悲痛に閉され手厚く隊長を葬つた。そこで一同は大いなる誓ひをたてた。中には唯一言「隊長殿、申譯ありません」とつぶやく者もあつた。そして明日はまた、新しい戰鬪に彼等は立向ふ。

これが、たゝかひである。

この映画は、徹底したリアリズムで全篇が貫かれ、部隊の集團場面には、特に實際の兵隊が參加してゐるが、俳優も亦、平均してすぐれた演技であるといふ。隊長に扮したトーマス・ミッチャムは、この秀逸な演技によつて、昨年度の映画アカデミイ男優助演賞を授賞された。バージェス・メレディスは、部隊と行動を共にして眺めたり記錄したりする報道班員を演じるほか、所々にアーニイ・パイルの名文をもつて解說のアナウンスをつけてゐる。原作は、今次大戰が生んだ人間 の記錄であるが、映画もまた、監督ウエルマンのすぐれた表現によつて、最も人間的なものを描いた戰爭映画として、記念碑的な意味をもつものであるといふ。

アーニー・パイルの名とともに
アメリカ人の心を搏つた名画

G・I・ジョー物語

アーニー・パイル原作
ウイリアム・ウエルマン監督
バージエス・メレデイス主演

ユナイテッド・アーチスツ映画



報道班員アーニイ・パイルの死

登川尚佐

by
Naosuke Togawa

The Story of G.I. Joe

この映画は、昨年七月アメリカで公開されて、異常な反響を呼んだ。今次大戦から生まれた戦爭映画の最高傑作の一つと言はれてゐる。

原作者は、今次大戦の東西戰線に報道班員として華々しい活躍をし、昨年春沖縄戦線に散華した**アーニイ・パイル**。その名は、いま東京寶塚劇場が進駐軍専用劇場となつてから、彼の名誉を記念するためにその劇場に名づけられてゐるので、私達にも忘れ難い。彼は一九四二年から四三年にかけて、アフリカ戦線に参加してゐた當時の前線報告を一冊の本にとりまとめて、四三年秋「**こゝに諸君の戰爭がある**」Here is Your War の名で出版した。赤裸々な戦線記錄が壓倒的な人氣を呼んで、翌年のベスト・セラーズに加へられた。それが、この映画の原作である。

その中の多くの記錄的な挿話を「サブマリン爆撃隊」などのキャメラマン、**アーサー・ミラー**が一つの物語に纏めあげた。製作は**レスター・コウアン**、監督は「つばさ」「饑ゆるアメリカ」「スター誕生」「嵐の人々」の**ウイリアム・ウエルマン**。撮影は「赤ちやん教育」の**ラッセル・メテイー**である。

出演者は、「女中の日記」などで最近脚本家としても俳優としても目ぼしい活躍をしてゐる**バージエス・メレデイス**が、報道班員アーニイ・パイルに扮するほかは、すべて無名の人ばかりである。即ち隊長ウォーカー中尉にトーマス・ミッチャム、ウアルニッキイ軍曹にフレディー・スティール、ドンダロにウオリイ、キャッセル、ほかにレオポルド・アトラス、ガイ・エンドア、フイリップ・スティーヴンスン等、その男ばかりの中に唯一人の女としてヨランダ・ラッカの扮するカフェの女があらはれる、といつた大膽さでスターを無視してゐる。

秋深きアフリカの夜

映画は、アフリカの最前線カッシノ高地に派遣された、緑色部隊の通稱をもつ精鋭な奇襲部隊の行動で綴られる。そこには、笑ひと悲しみ、緊張と弛緩、勇敢と恐怖望郷と忘却、團結と分裂、などといつた戰ふ兵隊の心に宿る眞實の相對する二つの要素が彼等の動きに交錯してあらはれる。それは、筋としては傳へ難い、生き生きとした雰圍氣のうちに描かれてゐるものである。その最初の一節を紹介すると——

秋深いアフリカの夜。野營のキャンプがあちこちに點在してゐる。ラジオ自動車の中の男がダイ

の映画を作る事に成つた。第一回作品はウェルズが目下ブロードウェイで上演中の舞臺劇「世界一周」"Around the World"の映画化と決定。明年早々ロンドンのコルダ撮影所でテクニカラーで撮影される。これはジュール・ヴェルヌ原作の「八十日間世界一周」に基いたもので、コール・ポーターの音樂が採入れられてゐる。

獨立プロ大はやり

RKOの「シスター・ケニー」コロンビアの「我が寂しき心」に最近主演した**ロザリンド・ラッセル**は、夫君のフレドリック・ブリッスンと共同で獨立プロ、インデペンデント・プロデューシング・アーチスツ社を創立し、今後五年間に十本の作品を製作すると發表した。ラッセル孃は毎年一本宛の映画に主演するほか、**ケイリー・グラント**が一本に主演する契約を結び、「シスター・ケニー」の監督**ダドリー・ニコルス**も脚色家兼監督として契約を締結した。第一回作品はトルウ・ボードマンが目下脚色中の「追求の幸福」"The Happiness of Pursuit"の豫定である。

☆

「コンドル」「ビッグ・スリープ」等を監督した**ハワード・ホークス**は獨立プロを起し、作品をユナイテッド・アーチスツから發賣する事に成つた。第一回作品「**レッド・リヴアー**」"Red River"は、「驛馬車」「拳銃の町」に主演した**ジョン・ウエイン**が主演し、新人マーガレット・シェリダンが對手役で、八月十九日からアリゾナにロケイションして製作が開始された。

☆

日下RKOで「船乗りシンバッド」に主演中の**ダグラス・フェアバンクス・ジュニアー**も獨立プロダクションを起し、インタナショナル社で第一回作品として「**亡命者**」"The Exile"をテクニカラーで作る事に成つた。彼自身の脚本で、自ら主演する。

☆

「暗黒街の顔役」「科學者の道」等で知られて居る**ポール・ムニ**は、ブロードウェイでベン・ヘクト原作の「旗の誕生」"A Flag is Born"に主演中であるが、九月末頃打上げと共にハリウッドに歸り、獨立作品として「**アルフレッド・ノーベルの物語**」"Story of Alfred Nobel"に主演する筈で、アルフレッド・ノーマンが脚本の執筆中である。ノーベルはスウェーデンの科學者でダイナマイトを發明し、遺言してノーベル賞の制度を開いた人物である。

ハムフリ・ボガート ワーナーと十年契約

ワーナー・ブラザースと揉めて居た**ハムフリ・ボガート**は會社と和解し、現在の契約がまだ十八ケ月殘つて居るのを破棄して新しく十年間の專屬契約を結んだ。その條件によると毎年二本の映画に主演し、一本は出演料二十萬弗、他の一本は利益分配を受ける。脚本と監督はボガートに選定權があると云ふのだから、完全に會社側の負けである。

Jクローフオードの新契約

ジョーン・クローフオードはワーナー・ブラザースと專屬契約を結んで居るが、契約條件に毎年他社で一本宛映画を作つて良い條項があるので、ユニヴァーサルから作品を提供して居るスカーボール・マニング・プロダクションが今後二年間、毎年一本宛主演映画を作る契約をした。この契約による第一回作品はキャロール・リード監督の「**黒い肖像**」"Portrait in Black"の豫定である。

ドミルの大作撮影開始

セシル・ビー・ドミルの監督するパラマウント映画「**征服されざる人**」"Unconquered"（テクニカラー）は愈々**ゲイリー・クーパー**と**ポーレット・ゴダード**を主役として製作が開始された。アメリカ開拓時代の物語で、ハワード・ダ・シルヴァ、カスリン・ドミル、ボリス・カルロフ、ヘンリー・ウィルコクスン、ヴィクター・ヴァルコニ、セシル・ケラウェイ等の共演する大作である。

グレゴリー・ペック ゴールドウイン映画に

サミュエル・ゴールドウィンは近く製作する「**地球と天國**」"Earth and High Heaven"の主役に**グレゴリー・ペック**を契約した。これはグウェサラン・グレアムの原作に基いたもので、カナダにロケーションしてテクニカラーで撮影される筈である。

ベティ・デヴィースの近況



『情熱の航路』をある老教授に見せたら、『あの女優は日常生活においても、神經異常者ではあるまいか？』といはれた。映画ファンでないこの老學者の言はある程度まで正しい。といふのは、デヴィスはハリウッドに於ても少々エクセントリックな俳優と一部でいはれてゐるからである。

一九三二年（昭和七年）以來、彼女は三回結婚して、今年三十八才である。現在の夫は畫家であり、アマチュア・ボクサーのウヰリアム・グラント・シエリーで、三二才。

彼女は THE FIRST LADY IN HOLLYWOOD と呼ばれ、ハリウッドに於ては第一流の女優であることは、今も昔も變りがない。昔といへばデヴィスは一九三〇年にゴールドウインと初めて契約を結び、數年後には年收十萬ドルを得るやうになつた。ついでであるが、最近の年收は二十五萬ドルといはれてゐる。しかし、彼女の日常生活は極めて（といても、我が國と比較すれば問題にならないが）簡素なもので、收入の十分の一で生活をしてゐる、と傳へられる。

お料理をつくることを、彼女は嫌ふ。しかし、繪を描くのがお好きとある。家庭においても、スクリーンに現れるやうに、よくタバコをのみ、サーカスのライオンの如く神經質である。

『美しい』といふお世辭を、彼女に向つて言ひ出したら大間違ひである。デヴィスは、美しくありたい、と念願してゐるが、美しくないことに感謝してゐる、といつたことがある。

彼女は極めて讀書家で、主として小説を讀む。これは自分の『仕事』のためと、それから何か材料を見出さうとするためである。讀書をもつて自分の仕事のビタミンとしてゐる。彼女は又、愛犬に『ハマ・ハマ』といふ名前をつける程のセンス・オヴ・ユーモアを持つてゐる。

彼女は今、一人二役で『失はれた生活』といふ映画を撮つてゐるが性格の全く異る双生兒の姉妹を、例の素晴らしく圓熟した演技で見事に、描き出してゐる、と米紙は報じてゐる。

カリカチュアはベティ・デヴィス

ハリウッド短波放送

田村幸彦



ジョン・ペイン John Payne
新しき貴女たちのアイドル。

Short-wave Broadcast From Hollywood

by Yoshihiko Tamura

エンタプライズ社ユニヴァーサルと決裂

新興のエィタプライズ社の作品の配給權をユニヴァーサルが獲得した事は九月號で報道した通りであるが、その後ユニヴァーサルとインタナショナルの合併が實現しユ社の製作方針に大變化を來したので（前號參照）、エンタプライズ社の幹部たるチャールス・アインフェルドとデイヴィッド・ロウは、エンタプライズ映画をユニヴァーサルから發賣する契約を八月二十九日に破棄した。その理由とする所は、ユ社に配給を委託した際には、ユ社とインタナショナルの合併問題は表面化して居らず、インタナショナル映画はユナイテッド・ワールドから發賣される筈であつたが、ユナイテッド・ワールドがユ社に合併され、ユニヴァーサル・インタナショナルが第一級作品のみを作る事に成ると、エンタプライズ映画の魅力が著しく減殺される惧れがある、と云ふのにある。

この報が傳はるや、エンタプライズ映画の配給權を獲得せんものと、各社の間に猛烈な競走が始まつた。目下コロンビアが最も好條件を提出して居るが、ユナイテッド・アーチスツ、パラマウント、RKO、二十世紀フォックスの四社も色氣を見せて居り、この項締切までには何れとも決定を見ない。

イーグル・ライオン製作を開始

英國の映画王アーサー・ランクの製作する映画の一部をアメリカで配給する爲に創立されたイーグル・ライオンは、ハリウッドでアメリカ映画の製作も行ふ事に成り、ワーナーの監督及びプロデューサーを長く勤めたブライアン・フォイを製作部長に招聘した。四六―四七年度には十本のアーサー・ランク製作の英國映画と、十本のハリウッド製映画を配給する豫定である。既にシルヴィア・シドニーとフランチョット・トーンを「再上演」―Report Performance―のスターとして契約した。これら十本の映画は何れも百萬弗級の製作費を投じられる。

この他にイーグル・ライオンはPRC社から十二本の映画を發賣する筈で、これらの映画の豫算は一本最低五十萬弗である。

生フイルム値上げ實施

八月二十日イーストマンは三十五ミリ・ポジ・フィルムの價格を一千呎につき九弗六十七仙から十一弗三十八仙に引上げる旨發表した。この價格は十五パーセントの内國消費税を含んで居る。生フィルムの價格が引上げられたのは今度が初めてであるが、アメリカでは一年間に約二十五億呎のポジが使用されるので、映画界全體として一年間に約二百五十萬弗の支出增加となる計算である。ネガやサウンド、小型映画フィルムの値段は据置かれて居る。

オーソン・ウエルズとコルダが提携

アレキサンダー・コルダとオーソン・ウエルズは提携して、數本

「我が家の樂園」「スミス都へ行く」の好チーム。フランク・キャプラとジェース・ステユアートが再び組んだ戰後はじめての新作「素晴らしき人生」“It's a Wonderful Life”がいよいよ撮影を開始した戰時中キャプラは、陸軍の信號部隊（シグナル・コオプ）に加はつて、其處で今時大戰を描いた「何故我等は戰ふか」“Why We Fight”と云ふ映画を製作した。彼は大佐になつて除隊してゐる。彼の歸還後第一回作品である此の「素晴らしき人生」は一九二八年から四六年の現在へかけての物語で、豊かな明るい心を持つ人にはいつも眞の友人がある……と云ふキャプラ一流のアイディアを持つた映画らしい。

ジエームス・ステユアートも參戰。彼は獨逸の上空を驅けめぐつてゐた航空隊である。彼も除隊の時には大佐となつてゐる。今度の相手役は「彼等は消耗品」（“They Were Expendable”ジョン・フォード監督作品、ロバート・モンゴメリー、ジョン・ウエイン主演）出演してゐるドンナ・リードと呼ぶ新人で、キャプラは彼女をM・G・Mからわざわざ借りてきて出演させてゐる。

この映画の最初の方で、ドンナ・リードとジエームス・ステユアートは學校のダンス競技會で昔懐しいチヤールストン・ダンスのコンテスト振りを御目にかける。プリンストンの新入生達を迎へたこのダンス・パーテイで、ステユアートとドンナ・リードは大騒ぎに踊つたあげくプールへ派手におつこちてしまふと云ふ痛快なシーン。何故ならそのコンテストはプールの一番近くのはしつこで催されるのである。

尚この撮影に當つて、エキストラとして本物のハイ・スクールの生徒達が集められ、彼等は御ひいきのステユアートや珍しいドンナ・リードと大騒ぎで一日中踊つた揚句、十三弗五十仙から十六弗のエキストラ料を貰つてゐる。この映画はリバテイ・フヰルムより發賣されることになつてゐる。





踊る人 James Stewart Donna Reed

踊らん哉

"素晴らしき人生"

フランク・キャプラ復員第一回監督作品「素晴らしき人生」より



It's a Wonderful Life

ド・バルクマンを獲ることが判つて居ても、どんな方法で、どんな危險を冒した後で、二人に幸福が齎されるかは、仲々容易には判らない。ピストルも出なければ、ウラニウムは語られても、原子爆彈と云ふ言葉は一度も出て來ない。それで居てヒチコックの魔法は觀るものに片唾を呑ませるのである。

上映時間一時間四十一分、紐育のラジオ・シティー・ミュージックホールで八月下旬特別封切され、第一週に十萬弗、第二週に十五萬二千弗、第三週に十六萬二千弗と云ふ驚異的數字で新記錄を樹立し長期續映中である。

Sister Kenny

シスター・ケニー

シスター・ケニーと云ふのは實在の人物で、オーストラリアに生れ、看護婦と成つてから小兒麻痺の治療を思ひ立ち、三十五年間も一身をこの仕事に捧げた婦人である。この映画は彼女が小說家の**マーサ・オステンソ**と共同で書いた自敍傳「そして彼等は歩く」と云ふ書物に基いて、**ダドリー・ニコルス**がアレキサンダー・ノックス及びメェリー・マッカシーと共同で脚色したもので、ニコルスは又この映画のプロデューサー兼監督も勤めた。ダドリー・ニコルスと云へば、名作「目擊者」の脚色で一九三五年度のアカデミー賞を獲得した人。近くは「聖メリー寺院の鐘」「眞紅の町」の脚色をしたがこれは彼の第一回監督作品なのである。

映画はエリザベス・ケニーが、一九〇九年、二十二歳の時看護婦學校を卒業した時に始まる。彼女はオーストラリアの田舍病院に看護婦として赴任し、初めて小兒麻痺を患ふ可憐な少年に會ひ、何とかして此の病氣を癒してやらうと決心する。彼女には專門的な醫術の心得はなかつたが、單純なインスピレイションで療法を思ひつく然し彼女の此療法は、從來の醫學書に載せてないと云ふだけの理由で、舊弊な醫者たちから反對を買ふ。その急先鋒はブラック博士（故フィリップ・メリヴェール）であつたがマクドンネル博士（**アレキサンダー・ノックス**）と云ふスコットランド生れの醫者が彼女の味方で、陰に陽に彼女を勵まし、この療法の完成を指導する。ケニーはマクドンネル博士を心秘かに戀しながら結婚を諦めて、自分の生涯を小兒麻痺の治療に捧げる決心をして、三十數年の間獨力よく此の天職に全力を盡す。遂に彼女の苦闘は報ひられ、一九四〇年アメリカのミネソタ大學は彼女を招聘し、ケニー病院を彼女に贈る。然しアメリカにも彼女に反對する委員會があつて、彼女の方法を非難するが、整形外科醫の集りで、彼女が最初の講演を行ふ場面で映画は終るのである。



「シスター・ケニー」のロザリンド・ラッセル

傳記映画ではあるが、ケニーの淡い戀や彼女を戀するオーストラリアの軍人を配して、無味單調に成るのを避けてあり、彼女の人道に盡す獻身的努力の崇高さには、觀るものは誰も感動させられるさうである。



ロザリンド・ラッセルは「結婚十分前」「米國の機密室」「姬君御滿足」等でお馴染であるが、昨年はウォーナーの「ラフリー・スピーキング」一本に出演しただけであつた。彼女の對手役を演じる傍ら脚色でもダドリー・ニコルスに協力したアレキサンダー・ノックスはフォックスの名作「ウィルスン」に主演したほか、コロンビアの「廿一歳以上」でアイリーン・ダンと共演した俳優である。撮影監督は「生きてる死骸」近くは「聖メリー寺院の鐘」「スペルバウンド」等の撮影を擔當した名手ジョージ・バーンズ。上映時間は一時間五十分、九月に紐育で封切された新作である。



リー・グラントとイングリッド・ベルグ

New Films in New York

紐育封切映画紹介

Notorious ノートリアス

アルフレッド・ヒチコックが「スペルバウンド」に續いて製作、監督したもので、**イングリッド・ベルクマン**と**ケイリー・グラント**が主演するスリラーである。脚本は**ベン・ヘクト**の筆に成り、彼一流のザスペンスとスリルに滿ちたものである。

アリシア（イングリッド・ベルクマン）の父は獨逸人であつたが國事犯で二十年の刑に處せられる。アリシアはアメリカの諜報部の役人デヴリン（ケイリー・グラント）と逢ふ。デヴリンは彼女の電話を盗聽きして、彼女が父に反對し、アメリカに忠誠を誓つて居たことを知つて居たので、彼女を南米のリオに派遣して、獨逸のフアルベンと云ふ世界的化學藥品會社の内情調査に當らせようと望み身分を包んで彼女に近寄つたのである。アリシアはこれに同意して彼と共にリオに行く。二人は互に戀し合ふ樣に成るが、デヴリンは自分の過去を考へて、彼女の戀を受入れる氣に成れなかつた。アリシアはファルベンの支店長アレキサンダー・セバスチアン（**クロード・レインズ**）と、ワシントン時代に知合つて居たが、セバスチアンはリオで彼女と再會し、彼女に求婚し、彼女はデヴリンが自分を愛して居ないと信じて、彼と結婚する。その後彼女は、夫のセバスチアンの擧動に不審を抱き、彼の酒倉の鍵を盗んで、葡萄酒の瓶を一本盗み出し、それをデヴリンに渡す。デヴリンは、その瓶の中にウラニウムの鑛石が隱されて居る事を發見する。ウラニウムは原子爆彈の材料だ！

然しセバスチアンも妻が自分の秘密を知つた事を發見した。彼女はアメリカの秘密探偵に相違ない。彼は自分の母（レオポルディン・コンスタンティン）に善後策を相談し、彼女の助言に從つて、アリシアに毒を與へて徐々に彼女の命を縮めようと計る。デヴリンはアリシアから五日間も連絡がないので、事情を調査して眞相を知り、彼女の寢室へ忍び込み、彼女を救ひ出さうとする。

から略筋を書いて見ると、それ程のサスペンスがあるとも思へないが、アルフレッド・ヒチコックの腕前を知るものにとつては、このクライマックスが、如何に發展するか想像が出來ることであらう。

彼はサスペンスを一つ一つ徐々に積み上げて行く。氣の短かいものに取つては、最初は遲すぎると感じられるかも知れない。然しそれが積み上げられて、最後のクライマックスに來た時には、觀客は椅子から乗り出して手に汗を握らされる事に成るのである。ケイリー・グラントが最後にイングリッ

「この他、一緒に仕事をして俳優で好きな人はウオルター・ヒューストンだ。この人とは大變働きいゝ。ヒユーストンとは「ヤンキードウドル・ダンデイ」で一緒だつた。（この映画のことは本誌七月號で野口久光氏が紹介してゐる。ジョージ・M・コアンの傳記を扱つた映画で、主演のジエームス・キャグニイはこの映画で一九四二年度のアカデミー男優演技賞を得てゐる。）また一緒に仕事をしたことはないが、僕の好きな俳優は、イングリツド・ベルクマンとグリア・ガースンだ。特にベルクマンが好きで、このひとの素晴らしい演技力には敬服してゐる。」

と語つた。ベルクマンとガースンは日本でも今とても人氣があるといつたら、彼は、「さうでせう、彼女達は一度見たゞけでファンの心を惱殺しないではおかない傑れた魅力がある。」ともいつた。

彼はこれ迄十五本位の映画に出演してゐるさうだが、その代表作に前記の「追憶」「ヤンキー・ドウドル・ダンデイ」（マイケル・カーテイス監督作品）の他に「キングス・ロウ」"King's Row"（サム・ウッド監督作品、アン・シエリダン、ベテイ・フイールド主演）がある。

彼は、十月頃歸國の上、復員することになつてゐるとのことだ。この雜誌が出た頃には、もう恐らく日本にはゐないだらう。復員したら懐しのハリウッドに歸つて再びスクリンの世界で働くといつて張切つてゐた。



「雜誌に僕の記事が出たら送つて下さい。いゝ記念になりますから……」

そして、

「日本は好きです。もう一遍來たいと思ひます。貴誌を通して、日本のファンに宜しく傳へて下さい。」

といつた。

ではクロフト君、御機嫌よう。……そして「追憶」とともに、デユーイ少年ダグラス・クロフトの名がいつまでも記憶に殘るやうに、ハリウッドにおける今後の活躍を期待しよう。

大黒東洋士

寫眞前頁は有樂座前にて、上は「追憶」のダグラス・クロフト

アメリカ映画の見方について

伊勢壽雄

アメリカ映画の使命

アメリカ映画が將來したといふことは、非常に大きな社會的現象である。それは單に日本映画の商賣仇と云つた狹い問題ではなく、不和國家建設途上の日本に重大な意義を持つそれは大きな社會現象なのである。

過去の我々の大きな誤謬は一に掛つて觀察能力の貧困にあつた。我々の世界觀、歷史觀、アメリカ觀、物質文明觀、はおろか、自國自身をも完全に見誤る誤謬に陷入つたのであつた。今こそ我々は正しい世界觀を確立する秋だ。新しい平和文化國家の建設を目指す我々は、先づ正確なる觀察能力を養ふといふことが先決であらねばならない。かつての出版物がさうであつた如く、日本に輸入された洋画も殆んど輸入制限や檢閲によつてその全體の形がゆがめられた許りでなく、誤つた世界觀、文明觀、歷史、藝術觀等による鑑賞ポイントの色ガラスを通して、我々は誤つた鑑賞のしかたを強要させられたのであつた。

今日アメリカ映画が再び我等の前に與へられた。そして其處には既に鑑賞をゆがめる誤つた思想に基く檢閲制度もなく、我々は全く自由な鑑賞が出來るようになつた。アメリカが日本に映画を提供する最大の理由は、平和國家再建途上の日本國民に、アメリカ映画を通して眞の民主主義の實體を把握せしめるといふ重要なる使命と、趣味高き娯樂に乏しき日本國民に映画による娯樂を提供するといふ暖い考へに基くものであることは、當局者の率直な言明によつて明かにされてゐるところだ。我々はこのことを先づ念頭に入れて置く必要がある。

正確なる觀察能力を養ふといふことが、正しい日本再建の先決問題であることは既に述べた。そして、正しい觀察能力を養成することに於て映画殊にアメリカ映画ほどよき對象はないのである。からした大きな社會的意義を持つて登揚したアメリカ映画に對し、我々は今日如何なる認識を持ち、如何なる鑑賞態度を持ちつゝあるかといふ事を檢討するのも決して小さな問題ではないやうである。

概括的であるが今日のアメリカ映画を鑑賞しつゝある殊に青年を中心とした多くの大衆層が、戰前の遠望的態度でなく、むしろ、激しい研究的態度をもつて鑑賞しつゝあるといふ事は、私の得つゝある情報から判斷して感取出來ることで、この點アメリカ映画に對する關心は戰前よりは明かに進歩的であると云ひ得る。全體的には質は確かに低下したといひ得る。然し鑑賞の態度には、娯樂追求のみのものと、うつろだつた瞳を輝かせて深い關心を寄せてゐるのとの二つの見方がある。この後者は、戰前に比して確かに進歩的な鑑賞態度であると云ひ得ると思ふ。

例へば「運命の饗宴」の場合

ひるがへつて鑑賞の指導的立場にあるジャーナリズム特に批評が、斯うした見方に對して適切であるかどうかといふ事は、非常に大きな影響力を與へるものだけに誰しも強い關心を抱かせられるのは當然であらう。私はこのことを最近の「運命の饗宴」に對する批評態度を見て痛切に考へさせられたのである。私はまだ東京以外の批評は見てゐないが、東京での「運命の饗宴」の批評の中には、大人のお伽噺としたものや、それに類似したものがあつたがこれらは果して適切であるだらうか。私はこの映画は「佛人デユヴィヴィエの記したアメリカ印象記」として非常に深い興味を覺えたものである。あの中に描かれたアメリカの五階級の生活と、そこに展開される生活、風俗、夫婦、戀愛、友愛の種々相は、眞にアメリカの最もアメリカ的なるものを摘出して居り、デユヴィヴィエの意圖と鋭い感覺に、彼のアメリカ觀として非常な興味を覺えさせられた。第一のエピソードの中に盛られた上級階級層の生活描寫の中に、金錢と結婚をした女性を摘出して痛烈な皮肉を浴びせてゐる。金錢萬能のアメリカ社會と女性の結婚戀愛觀の一斷面として。第二は第一話の正反對の金錢でない正しい戀愛結婚觀を持つ女性を中心に、二つの異つたタイプの男子を認め、中流生活者の斷面を描出した。第三に至つては私はデユヴィヴィエの非凡な、識眼と人格を感ぜしめられるものがあつた。即ち管絃樂の聽衆が一人殘らず一齊に燕尾服を脱ぐ場面であるが、これこそアメリカのアメリカたる一點であり、義俠を愛する共通の心理と一致した行動のアメリカ民衆の持つところの美點を大きくクローズアップし絶讃してゐるデユヴィヴィエの感覺にカブトを脱いだのである。このエピソートは決してお伽噺ではなく、眞のアメリカ國民心理の實體を摘出したもので、大いに注目の價値があるのである。「感激の町」で一人の少年を笑はせようとして大勢が一體となつて努力する點も單なるお芝居ではない。第四話の禁酒時代の暗黒面で非良心的に行動し蓄積した男の哀れなる末路、師の數へを遵奉した人々の明るい成功とが對比され、惡に對する社會の峻嚴なる批判と暖かい友情が描かれてゐる。第五のギャングルとギャングに對する彼の憎惡感、第六話では金錢萬能と目せられるアメリカに於て決して金錢が凡ではないと云ふ面を見出してゐる。貧農者達の要求がトラクターや牛を最大の希ひとして、金錢よりも作物だと云ふラスト・シーンの絢爛精神を見出してゐる。私は一つ一つのエピソートの意義を六ケ敷く究めることを決して求めてゐるのではないが、これを著名なる佛人映画作家のアメリカ印象記として見るとき、眞に深い興味を感取されるといふ鑑賞ポイントの問題を云ふのである。鑑賞ポイントが適切であればある程映画は本當に面白く見られるものである。アメリカ映画に對する青年を中心とした多くの鑑賞者の今日の態度を思ふとき、そうした人々が出來るだけ自由な立場で自己の鑑賞力觀察力を高めるように心掛けさせたい。我々には、過去に於ける世界常識、知識の貧困と觀察の誤りを再び繰返したくない。折角の映画が、再び指導上の誤つたレッテルが貼られるようなことが繰返されて行くとするれば、アメリカ映画が最大の使命とする民主主義の實體の把握はおろか、娯樂的興味も半減することゝなり、その影響の社會的に決して小さくないことを知らねばならないと思ふ。圓滿にして正確なる觀識眼、觀察力は平和と新しい文化の母體であるそしてこの力の練達に多くの課題をアメリカ映画は提供して呉れてゐる。觀賞力、觀賞指導ポイントの付け方によつて、アメリカ映画の社會的價値や面白さは甚だしく違つたものになるのである。

（筆者・セントラル映画宣傳部）



「追憶」のデューイ少年東京に現れる

子役スターからG・Iへ　ダグラス・クロフトとの會見記

アーニー・パイル劇場にて

「追憶」の一篇は、見る者の心に一沫の哀傷を通して爽やかな印象を與へる映画であつた。その一齣々々は、長くファンの思ひ出に殘ることだらう。この映画の中で、若き日のノラ・ツリネル先生（クローデット・コルベエル）に、戀と呼ぶには餘りにも淨らかな思慕の情をよせるデューイ少年の可憐な姿は、ファンの胸に深く刻み込まれたことゝ思ふが、あのデューイ少年に扮した少年スター、**ダグラス・クロフト** Douglas Croft が、終戰後の今日、立派なG・Iとして東京に姿を現はしたといつたら、嘸かし意外に思はれる方がゐるだらう。私もその一人であつた。然し思へば、「追憶」が製作されたのが一九四一年のことで、この年、彼は十四才の少年だつたが、あれから五年、彼も今では十九才の青年である。一人前のG・Iとして應召したからとていつて決して不思議ではない。

九月中旬のある日、私は「追憶」の中の幼い面影を抱き乍らクロフト君に逢つた。場所は東京日比谷のアーニー・パイル劇場であつた。彼は劇場の電氣掛として同劇場に勤務中であつた。

私の前に現れたクロフト君は、これがあのデューイ少年かと思ふ位、立派に成長した青年クロフト君であつた。十四、五才から廿才頃にかけては最も發育の目ざましい年頃だが、丁度この間の歲月が私達が初めて知つたクロフト君と今かうして逢ふG・Iクロフト君との間に介在してゐたのだ。つひ昨日逢つた許りのやうな少年クロフト君が、今は立派なG・Iとして私の前に現れた時、私は妙な錯覺さへ感じるのだつた。そして泌々と懐しい感情を掌に籠めて相手の手を握つた。彼は人懐つこい微笑を湛えて、謙虛に私の手を握り返した。グルグル巻きに繃帶で卷かれた左手が、遠く故國を離れ、そしてまだ母親を戀しがる年頃だけに、妙に傷々しく私の目を射つた。銀座の第八軍のP・Xで、ものに躓いて轉んだ拍子に、運惡く骨折して加療中とのことだつた。

「追憶」の頃の思ひ出

私は早速「追憶」の話を持ち出した。

「僕は昨年の三月に應召になつて同年の十月に日本へ來た。最初に上陸した土地は北海道の旭川だつた。それから勤務の關係で日本の各地を轉々としたが、ある町の街頭で思ひ掛けなく"Remember the Day"（追憶）のポスターを見た時はとても懐しかつた。この映画が五年後の今日、日本で封切されてゐようとは、夢にも考へてゐなかつた。あれは私にとつても好きな映画だし、それに一番思ひ出の深いものだけに、あの頃の思ひ出がまざまざと甦つてきて、心の底から懐舊の情に浸ることが出來た。恐らくこの氣持は、僕の生涯を通じて忘れることが出來ないだらう。應召、遠く日本への進駐そして「追憶」――私はこの氣持を、早速お母さんに手紙で知らしてやつた。」

私は彼の碧い眼に、母親への優しい愛情と鄕愁とを感じた。身長は五尺四寸位だらうか。アメリカ人としては小柄な方だ。それだけに、第一印象で彼の成長振りに目を見張つた私は、彼と接する程に、デューイ少年時代の少年々々した感觸を、彼の面影の中に徐々に感じとるやうになつてゐた。

「追憶」に出演した時の思ひ出として、**クローデット・コルベエル**は、一緒に仕事をするにはとても親切で優しくて、いゝひとだ……**ジョン・ペイン**も明るい感じの、好感の持てる人だ、ジョン・ペインの妻君になつたグロリア・デ・ヘヴンとは以前からの仲良しだが、この二人の結婚生活はとても圓滿だ……監督の**ヘンリー・キング**は監督によつてはとても氣難しくて俳優を怒鳴り散らす人もあるが彼はそんなことをしない溫和しい人で、この映画の仕事は萬事氣持よくやることが出來た――と語つてゐた。

ベルクマンとガースン

「感激の町」

Men of Boys Town
M・G・M 映画

原文對譯臺



この映画の物語は前月號に紹介濟みだが、この對譯の場面は、ホワイテイ（ミツキー・ルーニー）が慈父のやうに懷しいフラナガン神父（スペンサー・トレイシー）の手許からメイトランド夫妻の家に養子として引取られて行くところで、この短い會話の中にも、お互ひに離れたくない神父とホワイテイとの氣持がよく出てゐると思ふ。

Father Flanagan: Of course, Whitey could never take the place of your own son. No—no boy could. He's an individual with—with his own character, a very well-defined character.

Mrs. Maitland: He's a manly boy, and if he can learn to love us, we're both only too ready to love him.

Mr. Maitland: It will make room here for one more boy. And I understand from Mr. Morris that you need room badly.

Father Flanagan: If Whitey weren't the mayor of Boys Town—

Mr. Maitland: Well, people have to get over giving up lots of things.

Father Flanagan: He—he edits the school paper, too, you know.

Mr. Maitland: Oh, I'm sure you've taught some other boy here how to write English, Father.

Father Flanagan: And he's a great quarterback. He's the best we've had here in years.

Mr. Maitland: They pley football up our way, too.

Mrs. Maitland: We've tried to do what we could for people, and there's a satisfaction in knowing that we have accomplished something. There's so much of the case history about them, and I'm selfish enough to want something warmer, something closer to me.

Father Flanagan: Well, of course, the final decision rests with the boy himself.

Mr. Maitland: Naturally.

Voice over dictophone: Yes, Father?

Father Flanagan; Send Whitey Marsh in right away.

フラナガン神父　勿論、ホワイティーは貴方がた御自身の御子息の代りには成れません。どんな——どんな少年だつて成れません。彼は彼自身の性格、頗るハツキリした性格を持つた一個の人間ですからね。

メイトランド夫人　彼は男らしい少年です。もし彼が私達を愛すことを覺えてくれたら、私達は二人とも喜んで彼を愛しますわ。

メイトランド氏　彼が居なくなれば、一人分だけ此所に空きが出來ます。モーリス氏の說によれば、貴方は空きが非常に御入用ださうですな。

フラナガン神父　ホワイティーが少年の町の町長でなかつたら——

メイトランド氏　人間は色々なものを手放す辛さに打ち勝たねば成らんです。

フラナガン神父　彼は——彼は御存知の通り學校の新聞も編輯して居るのです。

メイトランド氏　貴方はこゝの他の少年たちにも英語の書き方を教へてある筈ですよ。神父さん。

フラナガン神父　そして彼は偉大なクオーターバクです。彼は何年間もの間此所の持つた一番良い選手なのです。

メイトランド氏　私達の町でもフットボールはやりますよ。

メイトランド夫人　私共は世間の爲に出來るだけの事をしようと試みました。そして私共は幾らかの事を成し遂げた事を知つて滿足に思つて居ります。助けた實例は澤山あるのですが、私は我儘にも、それよりも、もつと溫かい、もつと私に近い或るものが欲しいのですわ。

フラナガン神父　成程。然し勿論最後の決定は彼自身にあるのです。

メイトランド氏　當然ですな。

デイクトフオンの聲　何ですか、神父？

Voice: Yes, Father.

Father Flanagan: Of course, the boy will have to readjust himself to a wholly new environment and that's something that he couldn't do in a minute.

Mr. Maitland: Well, who could?

Father Flanagan: Uh—uh—I think it would be fairer to you and—and to him if—if we fixed a sort of trial period, of—of about three months.

Mr. Maitland: That seeme very fair to everyone.

Father Flanagan: There's something else I think I ought to tell you. And that's about Whitey's older brother. He was in trouble all of his life. As a matter of fact, he—he was sent to the electric chair.

Mr. Maitland: You think a lot of that boy, Father.

Father Flanagan: Yes, I do.

Mr. Maitland: Yes, you're painting so black a picture, I suspect you of wanting to hold onto him.

Father Flanagan: Well, Whitey is—

Whitey: It anything wrong, Father?

Father Flanagan: No, no, no, no, Whitey. How long have you been here now, Whitey?

Whitey: Three years. You know that, Father.

Father Flanagan; I suppose sometimes you've thought of the day when you'd leave Boys Town?

Whitey: Well, after I graduate, sure.

Father Flanagan: Yes, others have gone before you, others will go after you.

Whitey: What do you mean, Father?

Father Flanagan: There comes a— I guess you better tell him.

Mrs. Maitland: Whitey, my husband and I had a boy, about your age. We lost him tow years ago.

Whitey: I'm very sorry.

Mrs. Maitland: We're very lonesome without him, and we have many advantages to offer a boy who could take his place with us.

Whitey: Yes, Ma'am. I see.

Mrs. Maitland: You remind us very much of him. About the

臺辭拔萃　English text of dialogues with Japanese translation

フラナガン神父　すぐホワイティー・マーシンを寄越して下さい。

聲　かしこまりました。

フラナガン神父　勿論彼は全然新しい環境に自分自身を適合させなくしは成らんのですが、とても一分間では出來る事ではありません。

メイトランド氏　いや、誰だつて出來ませんな。

フラナガン神父　えゝ――えゝと、私が考へる所では、貴方がたにとつても、又彼にとつても、一種の試驗期間を、約三ケ月程決めた方が公平ではないでせうか。

メイトランド氏　それは皆なにとつて公平の様ですな。

フラナガン神父　それから、もう一つ、貴方がたにお話しすべきだと考へる事があります。それはホワイティーの兄に就てです。彼は一生不幸でした。實は、彼は――彼は電氣椅子に送られたのです。

メイトランド氏　貴方はあの少年の事を餘程氣にしてお居でですな。

フラナガン神父　えゝ、氣にして居ます。

メイトランド氏　左樣。貴方が餘り悪口を仰有るので、私は貴方が彼を離したくないのではないかと疑りたく成ります。

フラナガン神父　つまり、ホワイティーは――

ホワイティー　何か不可ない事でもありますか、神父さん？

フラナガン神父　いや、いや、ホワイティー、そんな事はない。お前は此所へ來てからどの位に成るね、ホワイティー？

ホワイティー　三年です。御存知の筈ですよ、神父さん。

フラナガン神父　時々お前は少年の町を去る日の事を考へた事があるだらうね？

ホワイティー　卒業した後で。えゝ。

フラナガン神父　さうだ、お前の前に去つた者もある。お前の後で去る者もある。

ホワイティー　それは、どう云ふ意味ですか、神父さん？

フラナガン神父　それはね――貴方がたから彼にお話し下さい。

メイトランド夫人　ホワイィテー、私の夫と私との間に、貴方位の年頃の男の子がありました。ところが、二年前にその子を失くしたのです。

ホワイティー　お氣の毒です。

メイトランド夫人　伜が居なくなつて私たちは大變淋しいのです。私達は彼の代りに成つてくれる子には、色々の便宜を上げられるのです。

ホワイティー　はい、奥樣。判りました。

メイトランド夫人　貴方は私達に伜の事を想出させます。同じ位の年頃です。それからフラナガン神父は、貴方が大變ラジオに趣味を持つてると仰有いました。

same age. And Father Flanagan tells me you've very interested in radio.

Whitey: Yes. I—I've had the radio bug for a long time now.

Mr. Maitland: There's a set up over the garage of our home. It can get anything. If thers are any more gadgets you want, we'll get them.

Mrs. Maitland: We want you to come home with us, Whitey. Will you?

Whitey: And leave Boys Town?

Mr. Maitland: Yes.

Whitey: For good?

Mr. Maitland: Well, we hope so, Whitey.

Whitey: It's up to Father Flanagan, isn't it?

Father Flanagan: No. No, I think that's up to you, Whitey.

Whitey: You always told me what to do before, Father—about important things, I mean.

Father Flanagan: Well, I think this is too important. I think this decision rests with you.

Whitey: Well, what do you feel—what do you think I should do about it? Do you want me to leave here?

Father Flanagan: Whitey, it isn't a question of what I went you to do. It's—uh—I-It's best for you.

Whitey: I thought I was doin' pretty good here.

Father Flanagan: You're doin' good. Splendidly, Whitey. You're the best helper I ever had.

Whitey: In about six months I'd—I'd graduate.

Father Flanagan: Well, you can—you can carry on your studies in another school.

Whitey: Another school—? Different fellas—and everything—?

Father Flanagan; Well, you'll never have any trouble making friends now, Whitey—ever.

Mr. Maitland: If you don't like it with us after a fair trial, you can come back here.

Whitey: Is that the way you want it, Father?

Father Flanagan: Yes, Whitey, I do. I think that's best.

Whitey: I'll be ready tomorrow.

ホワイティー　はい、僕――僕は大分前からラジオ氣狂ひなんです。

メイトランド氏　私達の家の自動車車庫の二階に一式揃へてある。どこも聞えるのだ。もしお前の欲しい附屬品が何かあつたら、何でも買つて上げる。

メイトランド夫人　私たちは、貴方に一緒に家へ來て貰ひたいのですよ、ホワイティー。來てくれますか？

ホワイティー　少年の町を去るんですか？

メイトランド氏　さうだ。

ホワイティー　永久に？

メイトランド氏　ウム、私達はさうする事を望むのだ、ホワイティー。

ホワイティー　それはフラナガン神父のお決めに成る事でせう？

フラナガン神父　いや。いや私は、これはお前の心次第だと思ふよ、ホワイティー。

ホワイティー　貴方は僕にいつでも前に何をすべきかを教へました、神父さん――つまり重大な事をする前にです。

フラナガン神父　いや、私はこれは餘りに重大な事だと思ふ。私はこの決定はお前にあると考へるのだ。

ホワイティー　では貴方はどうお感じですか――僕がどうすべきだとお考へですか？貴方は僕がこゝを去る事をお望みですか？

フラナガン神父　ホワイティー、これは私がお前に何をして欲しいと望むかと云ふ樣な問題ではない。これは――これは、お前にとつて何が最良かと云ふ問題だ。

ホワイティー　僕はこゝで相當良くやつてると思つてました。

フラナガン神父　お前は良くやつてる。素晴らしく良くだ、ホワイティー。お前は私が今迄に持つた中で一番良い助手だ。

ホワイティー　もう六ケ月位したら、僕は――僕は卒業するでせう。

フラナガン神父　だが、お前は――お前はお前の勉強を他の學校で續けてくれるよ。

ホワイティー　他の學校で？ 違つた友達、違つたすべての中でですか？

フラナガン神父　お前は、もう友達を作るのに決して苦勞はしないだらうよ、ホワイティー――永久に。

メイトランド氏　一通り試した後で、お前が私達の所に居るのを好まなかつたら、こゝへ歸つて來られるのだ。

ホワイティー　さうしろと仰有るのですか、神父さん？

フラナガン神父　さうだ、ホワイティー。私はそれが一番良い事だと思ふ。

ホワイティー　僕、明日出發出來ます。

米會話を學ばうとする者はこの珠玉を見遁してはならない



踊るグリア・ガースン

あるパーテイで、踊るグリア・ガースンと新聞記者のハーリー・クロッカー（右）の間に割り込んで、お次ぎのダンスのお相手を所望してゐる厚釜しい男は MGM の監督ジョージ・キューカー（左）です。(9/12 I.N.S.)



デイトリッヒ健在

戦争中は前線将兵の慰問旅行に寧日のなかつたマレーネ・デイトリッヒは、最近２年振りに新映画に主演することになつてゐます。映画はパラマウントの「黄金の耳飾り」"Golden Earrings" で、ミッチエル・ライゼンの監督、レイ・ミランドが共演します。このスナップはハリウッド・ナイト・クラブで、伴れの男は監督のリチャード・ホーフです。(9/12 I.N.S.)



善良な夫クーパー

"ハリウッドの最も誠實な夫" の１人として知られてゐるゲーリー・クーパーが、サンドラ・ショー夫人(右の女性)と一緒にあるパーテイに姿を現はしたところです。クーパーも齢をとりましたが、盛名は今尚續いてゐます。左端の女性はタイロン・パワーの夫人アナベラです。クーパー夫人とアナベラとはハリウッドでも最も仲の良い間柄です。(I.N.S)

This is Hollywood!

I.N.S., Sun-Acme 特約ハリウッド・スナップ
Hollywood Snapshots exclusively furnished by I.N.S. and Sun-Acme





ガルボ、返り咲くか？

神秘のヴェールを蔽つたスターとして、長い間スクリーンの人氣を浚つてゐたグレタ・ガルボも、こゝ數年來スクリーンに姿を見せず、ガルボ引退のニユースさへ飛んでゐましたが、最近故國瑞典の旅行より歸來、早くもガルボ・カムバックのニユースが華々しく傳へられてゐます。(9/3 ACME)



テムプルと彼氏

シャーリー・テムプルが「戀の十日間」に出演したのが 1944 年ですから、あれから早くも2年……この間彼女はジョン・エイガー（この寫眞の男性）といふ復員さんと結婚したことは旣報の通りですが、結婚後最初の主演映畫はジョセフ・コットンと共演の「急に春が來た」でした。最近は RKO で「ハネムーン」に主演してゐます。(9/12 I.N.S.)

そのたびにモファットは意志が挫ける思ひをしたが、エヴァンスを見出してからは一人のためにも學校を續けようと決心した。エヴァンスは炭坑の勞働を終へると毎晩彼女の家へ通つて勉強をした。夏から夏へ二年が過ぎた。彼は勉強が好きだつた。だが、時々は學問が何の足しになるのかと疑ひも起きた。さうした時は、彼は秘かにラム酒を飲んだ。

モファットは、エヴァンスにオックスフォード大學の奬學金をとらせて、最高學府までやりたいと思つた。そのためには、地主の協力が必要だつたので、彼女は地主に對して「貴方の力でエヴァンスがシェークスピアのやうになれたら、貴方にとつて此の上ない名譽になるでせう」と云つた。學問に對して理解のない地主も、自分の名譽となると忽ち彼女の申出を受け入れた。彼は無智ではあるが結局は好人物なのだ。

モファットが地主を送り出してホッとしてゐた時、酒氣を帶びたエヴァンスが入つて來た。彼はその夜も、學問することに疑ひをはさんで酒場でラムを飲んでゐた時村人に嘲笑されたので、學問を放擲して石炭掘りに專心しようと考へて、モファットに會ひに來たのだ。彼女はエヴァンスの決心を諫めようとしたが、彼が頑強に拒むので、氣が變るのを待つより仕方がないと思つた。

退學を宣言してモファットが戸外へ出ると、二階の窓から屋根傳ひに家政婦の娘のベッシイが飛び降りて來た。彼女は、ロンドンの惡風に染つたちんぴら不良少女で、その夜は叱られて二階に閉じこめられてゐたのだつた。彼女はエヴァンスに寄り添つて、誘ふやうなウェールスの戀の歌を歌つた。エヴァンスの頭には學問への懐疑と自分への憤りが渦を卷いてゐた。酒が血管を膨らませてゐた。眼の下には、ベッシイの潤んだ眼と紅を塗つた唇があつた。矢庭に彼はベッシイを力一杯抱きしめて接吻した。その後のことは、たゞ夜露に濡れた草の褥だけが知つてゐた。

彼は元通りたゞの炭坑夫になつて毎日を送りはじめた。だが一度開かれた學問への扉を彼は忘れ去ることが出來なかつた。そして時々は歴史の本を繙いたりした。さうしたある日、ジョーンズ先生が訪れて來て、再び學問を續けることを慂めた。エヴァンスは翌日モファットの許に行つた。彼女はそれが毎日のことのやうに默つてラテン語の本を手渡すのだつた。そして教へる者と教へられる者の激しいが希望に滿ちた生活が續けられ、やがてオックスフォードの奬學金のための檢定豫備試驗が行はれる日が來た。

その日ロンドンへ女中奉公に行つてゐたベッシイが突然歸つて來た。そしてモファットに、自分が姙娠してゐること、赤ん坊の父親がエヴァンスであることを告げた。モファットは愕然とした。だが直ぐ、赤ん坊のことはエヴァンスに知らせてはならぬと思つた。試驗の當日にその話を聞いたらエヴァンスは失敗するに決つてゐるし、彼の將來が失はれると思つた。そこで彼女は、ベッシイに金を與へ凡てをエヴァンスに内密にしておくやうに云つて、ロンドンへ歸した。

試驗の始まる時刻の最後の一分間まで、モファットは、まるで自分が試驗を受ける者であるかのやうに熱心にエヴァンスに盡した。試驗は、豫め大學から送られて來

★★ ★★ ★★ ★★ ★★ ★★ ★★

CAST

ミス・モフアツト……ベテイ・デーヴイス
モーガン・エヴアンス……ジヨン・ドール
ベツシイ・ワツテイ‥ジヨーン・ローリング
地　　主……ナイジエル・ブルース
ジヨーンズ氏……ライス・ウイリアムズ
家政婦ワツテイ……ロザリンド・アイヴアン
ミス・ロンベリイ‥ミルドレツド・ダノツク
ウイル・デーヴイス……アーサー・シールズ
セイラ・ピユー……ダエニス・ヒユーズ
トム老人……タマス・ロウデン
ギリム・ジヨーンズ……ジーン・ロス

★★ ★★ ★★ ★★ ★★ ★★ ★★

★STUDIO NEWS

☆M・G・M

◇フランク・モーガン、キーナン・ウィン、セシル・ケラウェイ、オードリー・トッター等の主演する喜劇「大變な奇蹟」"The Cockeyed Miracle"がシルヴァン・サイモンの監督で完成、發賣された。「幽靈紐育を歩く」式のファンタジーである。

☆RKOラジオ社

◇ロバート・ヤング、バーバラ・ヘール、フランク・モーガン、ジェームズ・グリースンの主演する喜劇「幸運の女神」"Lady Luck"が發賣された。新人フランク・フェントンの監督作品である。

◇ジェームズ・ティンリングはソル・ワーツエル・プロダクションの「危險な富」"Dangerous Millions"の監督を開始した。ケント・テイラー、タラ・ビレル、ドーナ・ドレーク等の主演する中華民國を背景としたメロドラマである。

◇ブロードウェイで「フィラデルフィア物語」、「女」「詩と偏見」「ダズワース」等を演出したロバート・シンクレアーは二十世紀フォックスと長期契約をしてハリウッドへ到着した。

◇ヘンリー・キング監督のテクニカラー映畫「マーギー」"Margie"が完成した。主役は「百年目の夏」に出演したジャンヌ・クレインで、グレン・ランガン、リン・バーリ、アラン・ヤングが助演する。

☆ユナイテッド・アーチスツ社

◇ソル・レッサー・プロの「立入り禁止」"No Trespassing"がデルマー・デイヴスの監督で完成した。エドワード・G・ロビンスン、ロン・マッカリスター、アリーン・ロバーツの主演する心理劇である。

◇アーノルド・プレスバーガー・プロの「巴里の醜聞」"A Scandal in Paris"がダグラス・サークの監督で完成した。ジョージ・サンダース、シグニ・ハッソ、キャロール・ランディス、アキム・タミロフ、ジーン・ロックハート等の主演する時代劇で、悪漢から警視總監に成つた傳奇ヴィドックを主人公とした物語である。

☆ユニヴァーサル社

◇アメリカの異色ある探偵小說家として有名なコーネル・ウーリッチの原作に成る「黑衣の天使」"Black Angel"がローイ・ウィリアム・ニールの監督で完成發賣された。「窓の女」「眞紅の町」で惡役を演じて認められたダン・ダーイーの第一回主演映畫で、ジューン・ヴィンセント、ピーター・ローレ等が助演する。

◇マーク・ヘリンジャーがユ社の爲に製作した第一回作品「殺人者」"The Killers"が完成發賣された。アーネスト・ヘミングウエイの原作を、アンソニー・ヴィーラーが脚色し、ロバート・ジオドマークの監督したもので、エドマンド・オブライエン、エイヴァ・ガードナー、バート・ランカスター、アルバート・デッカー等の主演する探偵劇である。

☆ウオーナー・ブラザース社

◇デイヴィッド・バトラーの監督した「ミルウオーキイから來た二人の男」"Two Guys from Milwaukee"が發賣された。デニス・モーガン、ジャック・カースン、ジョーン・レスリー、ジャニス・ペイジ等の出演する喜劇である。



特別物語

The Corn is Green

小麥は綠

アーヴィング・ラッパー監督
ベティ・デヴィス主演
ワーナー・ブラザース映画

〔解説〕 原作は**エムリン・ウイリアムズ**の同名のステージ・プレイ。同舞臺劇の演出者は「ラインの監視」のハーマン・シャムリンである。脚色は「情熱の航路」「サラトガ本線」「マルセイユへの道」「栄光の日」の**ケーシイ・ロビンスン**と「我が道を往く」の**フランク・キャヴエツト**。製作はジャック・チャートック。監督は以前ダイアローグ監督だつた、**アーヴィング・ラッパー**、彼は「情熱の航路」"In This Our Life" で既にベティ・デヴィスの指導をしたが近作としては、「マーク・トウエンの冒險」「ラプソディ・イン・ブルー」がある。撮影は同じく「情熱の航路」のソール・ポリト、編輯はフレデリック・リチャーヅ、音樂はマックス・スタイナー。主演は性格描寫に行くとして可ならざるなき大女優**ベティ・デヴィス**。アカデミイ賞を二度まで獲得した彼女の近作は、この映画の他に、「スケフィントン氏」「ハリウッド・キャンティーン」がある。**ジヨン・ドール**は舞臺出身の俳優でこの映画が彼の最初の出演映画である。又ジョーン・ローリングも新人であるが、既に「ロシアの歌」「サン・ルイ・レイの橋」に出演してゐる。又傍役では、ナイジェル・ブルースは四四—五年度にかけて本映画を始め十一本の映畫に活躍してゐる。ライス・ウィリアムズも「聖マリー寺院の鐘」「太陽の血」に出演した英國系俳優でロザリンド・アイヴァン、ジーン・ロスと同樣に舞臺劇でも映画と同じ役を演じた。なほこの映画には聖ルカ少年聖歌隊による數々のウエールズ地方の聖歌等が美しく歌はれてゐる。一九四五年度作品でフィルム・デイリー社の同年度ベスト・テンの一つに擧げられてゐる。

〔梗概〕 英國のウェールズ地方にあるグレンサーノといふ小さな村に、ロンドンからミス・モファットが引移つて來ることになつた。彼女はその村にある一軒の家を相續したのだつた。村の大地主の書記のジョーンズや有閑女性のロンベリーなどは、モファットがどんな人物か知りたくて、彼女の到來を待ち受けてゐたが、その荷物の大部分を占める書籍の數に上つても、彼女が教養の高い婦人であることが察せられた。

到着したミス・モファットは美しい中年婦人だつた。彼女は家政婦のワッティ夫人とその娘のベッシイを連れて來た。家を一通り見てから、モファットは庭へ出てみた。夕靄を通して合唱が聞えて來た。それはこの村にある炭坑に働いてゐる少年坑夫達が、仕事を終つて歸る途で歌ふ合唱であつた。この村では十二歳ともなればもう一人前の男として炭坑に働くことになつてゐた。學校とてはなく、從つて讀み書きする者は極めて少い狀態の村であつた。その村の話をジョーンズからきいたモファットは、自分の家を學校にし、自分の金で村の若者を教育しようと決心した。そしてジョーンズとミス・ロンベリーを教師として採用した。

村の少年少女や、時には炭坑に働く少年達が面白半分に、彼女の學校へ集つて來た。その少年炭坑夫の中にモーガン・エヴァンスが居た。彼の詩情に滿ちた作文は、モファットの眼を惹くに充分だつた。碌に文字も書けない者の中で彼の文章には天才の閃きがあつた。モファットが學校を開いたことに對して、無智な村人や地主から、反對と嘲笑が投げつけられ、



Coming New Pictures

ワーナー・ブラザース映画

わが心の歌

Always in my Heart

製作	アディール・コマンディニ
監督	ジョー・グラハム
撮影監督	シッド・ヒッコックス

Cast

マージョリー・スコット	**ケイ・フランシス**
マッケンチー・スコット	**ウアルター・ヒユーストン**
ヴィクトーリア・スコット	**グローリア・ウオーレン**
ブーリー	パティ・ヘール
マーティ・スコット	フランキー・トマス
アンジイ	ユナ・オコンナー
フィリップ・エームズ	シドニイ・ブラックマー
ロリタ	アーミダ
ジョー・ボレリ	フランク・ピユグリア
ロジタ	エルヴイラ・カーチ

解説 ドロシイ・ベネット及びアーヴィング・ホワイトの舞臺劇よりヒントを得て、アディール・コマンディニがオリジナル・シナリオを執筆した。監督は新人**ジョー・グラハム**、撮影監督はシッド・ヒッコックス、編輯はトマス・プラットである。音樂監督には「小麥は緑」のレオ・F・フォーブステインが當り主題歌「常に我が心に」はエルネスト・レクォーナが作曲した。特記すべきは「ボラー・ミネヴィッチとそのハーモニカ・ラスカルズ」の演奏するハーモニカ合奏で、「ハンガリア狂詩曲」等を巧みに合奏して、この映畫に多彩な華かさを添へてゐる。主演の**ケイ・フランシス**は、ハリウッド随一のベスト・ドレッサーとして古いファンには馴染が深い女優で「シナラ」「極樂特急」「年頃」等に主演し、最近作には「ジープの四人娘」「離婚」等がある。**ウオルター・ヒユーストン**もヴォードビル出身の古い性格俳優で曾ての名作「孔雀夫人」で名演技を示した。先般公開された「悪魔の金」で戦後の日本に紹介されたが、近作には「ドラゴン・シード」「かくて何物もなし」がある。**グローリア・ウオレン**はこの映畫製作當時十五才の少女ソプラノで、これが第一回出演映畫である。彼女は「セヴィラの理髪師」の詠唱、ヴェニスの謝肉祭」「ヴィエニ・スル・マール」と主題歌「常に我が心に」の四曲を歌つてゐる。

梗概 マージョリー・スコットはもう十年以上も女手一つで、三人の子供を養育して來た。聲樂家希望の姉娘のヴィクトーリアには音樂の勉強をさせねばならない。バイ・スクールに行つてゐる息子のマーティンを更にカレッヂへ進級させねばならない。末娘のブーリイはまだ幼い。外で働きながら、家庭では子供の面倒を見る。さうした生活に、マージョリーはこの頃疲れを感じてゐた。その彼女に對して求婚者が現はれた。それは町の金持のフィリップ・エームズと云ふ男だつた。彼は親切なので彼女も結婚して安定した生活がしたいと思つた。だが子供達の氣持が氣遣はれた。思ひ余つた彼女は前夫のマックに相談しようと決心した。

マックは東部の刑務所に入つてゐた。彼はピアニストだつたが、不測の事件のために十三年前に收監されたのだ。罪を犯した時、彼は妻の身を案じて離婚し、子供達には父が死んだと云はせてゐた。彼は遙々面會に來たマージョリーから再婚の話を聞くと、是非結婚せよと勸めるのだつた。そして、彼は翌日出獄することになつてゐたが、彼女の心に動搖を與へぬやうにと默つて面會室を出て行つた。今なほマックを愛してゐるマージョリーは、彼との別れが悲しかつた。泣き濡れてゐる彼女の耳に、その時マックが作曲し囚人管絃樂團の奏する曲が喰ひ入るやうに聞えた。

翌日マックは出獄した。そして彼の子供達が住んでゐる加洲の港町へ途中で働きながら行つた。彼はひと目子供達を見てから、何處かへ去らうと思つてゐたのだ。マージョリーの家の前を通りかゝつた時成長した娘のヴィクトーリアが美しい聲で歌つてゐるのが聞えた。引かれるやうに近寄つてみると、娘のピアノが壊れてゐたので調律師だと僞つて部屋に入り、娘と暫く話すことが出來た。その時マージョリーが外出から歸つて來たので、急いで家を飛び出すと港へ行つた。そこで彼は漁師のジョーと知り合つて彼の家に滞在することになつた。ジョーの所へは、マックの息子のマーティンが、學

てゐた問題を、指定の時刻に彼女が封を切つてエヴァンスに渡し、地主の立會の下に行はれた。そして答案は大學へ送られた。

やがて豫備試驗をエヴァンスが通つた報せがあつて、更に彼は第二の口頭試問を受けるためにオックスフォードへ旅立つた。

その頃は地主を始め村の老人達も學校へ來て勉強してゐたが、エヴァンスが歸つて來る當日は、全部の生徒が彼を待ち佗びて落着かなかつた。たゞモファットだけが、内心の激動に構えながら、靜かにしてゐた。學校中の者は昂奮して、も早授業は續けられなかつた。彼等はじつとして居れず擧つて停車場までエヴァンスを出迎えに行つた。だがその日のロンドンからの最後の列車にもエヴァンスは乘つて居なかつた。一人學校に殘つたモファットは、その頃初めて庭に出て、停車場へ續く道を眺めた。だがエヴァンスの影は見えず、野邊を蓋ふ雪の白さだけが眼にしみた。彼女は不安の眼を伏せて家へ入つた。

その日が暮れてから、モファットの許へ、ひよつこりエヴァンスが歸つて來た。彼は試驗の模様を第一番に恩師に告げるために、人眼につかぬように一つ前の驛で降りて馬車で來たのだと云つた。そして口頭試驗の話をしてから、彼は眼を輝かして云つた。

「試驗が濟んだ夜、友人と一緒にオックスフォードの街を歩きました。月が美しく輝いてゐました。その時、私は學問がなんのために存在するかゞ感得出來ました。ミルトンやシェークスピアのほんたうの價値が判りました。そして先生がほんたうに有難いと思ひました。僕の眼が開いたのです」

モファットは數年間の彼への獻身が今酬ひられたことを知つて眼頭が熱くなるほど嬉しかつた。そして口頭試驗の結果の報せが待たれるのだつた。

彼女がエヴァンスに別室で食事



なさせてゐる時、扉が開いて街の女のやうに華美なドレスを着、ビューティ・スポットまでつけたベッシイが入つて來た。そして來合せてゐた地主やジョーンズやロンベリイの前をも憚らず、約束を破つて、エヴァンスの子供を産んだことを公表した。そしてエヴァンスが父親である以上、結婚させてくれと迫つた。モファットの頭は混亂した。今までの歡びが忽ち消えて、苦しみの深淵が眼の前に口を開いてゐるのだ。彼女は、エヴァンスを明かに不幸な結末に終る結婚の犠牲にしたくなかつた。彼女の苦しみを見ると、ベッシイはにやりと笑つて、實は自分には男がある。赤ん坊が邪魔だから誰かゞ引取つてくれゝば文句はない、と云ひ出した。すると彼女の母の家政婦は、モファットがその赤ん坊を養子にしたらどうかと云ひ出した。

それはモファットにとつて將來の生活を變へるかも知れない重要なことだつた。決心がつきかねた。だが、エヴァンスといふ一人の才能ある青年を救ふために、それは殘された唯一の途であつた。彼女は遂ひに承諾した。

ベッシイは捨科白を殘して立去つた。すると別室から昂奮したエヴァンスが入つて來た。彼はベッシイの話を聞いて隱されてゐた秘密を知つたのだ。そして

「僕は赤ん坊の父親です、正しい親として子供を養育するために、僕はベッシイと結婚する義務があります」

と云つた。その時電報が配達された。それは、エヴァンスのオックスフォード入學許可の報せだつた。待つてゐた電報、だが今となつては何にならう。エヴァンスは云つた。

「僕はオックスフォードへは行きません、彼女と結婚して炭坑へ歸ります」

結婚して坑夫になつても、ベッシイには男がある。やがては夫と子供を殘して出奔することは明かだ。エヴァンスを生かすためには自分は今の危機を乘り切らねばならない、とモファットは思つた。

「あなたは結婚する義務があるとお云ひだ、けれどもう一度理性をとり戻して考へて頂戴、愛情のない間違つた結婚の結末ははつきりしてゐます。貴方は今では昔の貴方ぢやない、貴方の才能を延ばす天地が待つてゐるのです。貴方の義務はこの世界に盡すことです」

と彼女は云つた。エヴァンスは靜かに恩師の言葉を聽き、それに從はうと思ひ直した。モファットは彼の手をとつて、

「貴方は子供に會つてはいけないのです。私が子供を引取つて育てる以上、もう貴方は私に會へないのよ」

その時、エヴァンスの炭坑友達が揃つて松明をつけ合唱をしながら彼の入學祝ひに來た。彼は絶ち難い恩師への愛情をこめて彼女の手を握ると、友達の所へ出て行つた。彼は胴上げされ、行列は動き出した。彼は振り向いて窓邊に立つて見送る恩師の顔に別れの視線を送つた。

モファットは入學通知の電報を手にしながら自らに呟いた。

「こんどはこんな失敗をしてはいけない」

エヴァンスを見てゐる彼女の頰に、松明の光を受けて涙の筋が光つて居た。

ら講演の依頼さへ受けた。併し彼は人中へ出ることを嫌つてゐた。

ある日ニュートン家へ二人の男が訪ねて來た。二人は政府の役人で小都會の中流家庭の調査に來たとのことだつた。一人はジャック・グラハムといふ青年で、一人はフレッド・サンダースといふ中年のキャメラ・マンだつた。チャーリイ叔父は彼等を探偵だと疑り、努めて二人を避けてゐたが、うつかりしてゐる處を寫眞に撮られたので、そのフィルムを寄越せと迫つた。その權幕に、傍にゐたチャーリイは眼を瞠る思ひだつた。

その夜ジャックの請ひに應じてチャーリイは町の案内をしたが、その時ジャックは、自分が探偵で、東部からチャーリイ叔父を追つて來たのだと云ひ、チャーリイの協力を求めたが、事の意外さに彼女は吃驚したものゝ、信じ切つてゐる叔父を罪人と思ふことは出來なかつた。ジャックと別れてから、彼女は圖書館へ新聞を見に行つた。それといふのは、叔父がある日、何のため新聞を破つたことを知つてゐるので、そこに何か秘密があると感じたからだつた。新聞には、金持の未亡人を次々に殺して金を奪つた犯人を當局が嚴探中だと書かれてあり、最後の被害者の名前はチャーリイが叔父から貰つた指輪の裏の頭文字に符合してゐた。も早叔父の罪を疑ふことは出來なかつた。彼女は、叔父が一家を、殊に母の氣持を傷けることがないやうに立去つて貰ひたいと思つた。そもで叔父に對して、彼女が事實を知つてゐることを仄めかし、立去るやうにしむけた。そして貰つた指輪を返しさへした。



その後探偵のジャックが訪れて來て、チャーリイに事件の犯人が別の處で逮捕されたから自分は一旦任地へ歸るが、この次來る時には彼女に求婚する積りだと愛の告白をした。彼女もジャックを愛し始めてゐた。だが彼何と云うとも、叔父の罪を彼女は信じてゐたので、叔父の問題が家庭から實際に離れるまではジャックの愛を受け入れる事は出來なかつた。

叔父は、犯行を認めながいつかの指輪のやうな物的證據は何もないのだと囁きながら立去る氣配も見せなかつた。チャーリイは叔父の留守中に抽斗の中から指輪を盗み出し、それをはめて叔父を脅かさうともした。

叔父は秘密をすつかり握つたチャーリイを殺さうと計畫した。裏階段を壞して彼女を落さうとしたり、又ガレーヂの中の自動車のエンヂンをかけて、その排氣瓦斯の充滿した中に彼女を閉ぢ込めて窒息させようとした。だがその都度チャーリイは運良く助かつた。それは證據の殘らぬ巧みな方法だつたが、チャーリイには叔父の仕業であることがはつきり判つてゐた。

立去る氣配もなかつた叔父が、ある日突然町を去ると云ひ出したのを、チャーリイは心からほつとした。實は、叔父はサンタ・ローザで知合つた金持の未亡人と一緒に町を出ることを計畫してゐたのだ。

叔父を送つて列車中に入つたチャーリイの手を叔父は痛い程摑み列車が動き出しても離さず、恐怖に慄へるチャーリイに暗い聲で云つた。「お前は知り過ぎてゐる、だから殺すのだ、もつと汽車の速度が早くなつてから突落してやるのだ！」

チャーリイは必死に藻掻いた。だが、デッキから轉げ落ちて反對側の汽車に轢かれて死んだのは、疑惑の影をひいたチャーリイ叔父の方だつた。

サンタ・ローザの教會で、町の種々な施設に寄附をした叔父の葬式が、何も知らぬ人々によつて行はれてゐる時、チャーリイは探偵のジャックに、罪深くだがそれだけに不幸な叔父の事を語つてゐた。二人だけが、眞實を知つてゐたのだ。

賓を稼ぐために、時々働きに來ることになつてゐた。マックは港にゐるハーモニカを吹く若者達を集めて指導した。

　マージョリーとエームズの結婚準備は大分に進められた。マーティンは賛成だつた。その譯はエームズが彼に自動車を買つてくれたり、モーター・ボートを貸してくれたりしたからだ。だがヴィクトーリアはエームズが嫌ひで母が奪はれる樣で悲しかつた。彼女はある日漁師のジョーの家へ遊びに行き、其處でいつかの調律師マックに會つた。そして彼から彼の作曲になる「常に我が心に」を教へられた。

　家へ歸つてから、彼女が教へられた歌を歌つてゐる時、そのメロディが母の耳に入つた。マージョリーはそれがマックの曲であることを知り、娘にそれを教へたのはマックに違ひないと思つた。懐しさのあまり彼女は港へ行つてマックに會つた。會つてみれば矢張り懐しい夫であつた。彼女はマックに、家へ歸つてくれるように頼んだが、マックは、

「前科者にはお前達を幸福にすることが出來ないし、儂にはそんな氣がない」

　と云つた。

　母が結婚する日にヴィクトーリアはマックの許を訪れた。彼は留守だつたので部屋へ入つた時、ピアノの上から落ちた寫眞があつた。それは自分達が幼い頃の寫眞で母の傍にゐる男はマックでありそれが自分の眞實の父親である事が判つた。やがて歸宅したマックに彼女は泣きながら飛びつき、家に歸つてくれと頼んだ。しかし父は頭を振つて、云つた。

「世の中にはお前には判らない事情がある、儂は歸れないのだ、今夜儂はこの町から船で去ることになつてゐる。お前はお母さんの面倒をみてあげなさい」

　ヴィクトーリアは父の決心を諦みとると、泣きながら家へ歸らねばならなかつた。

　その夜母はエームズと結婚することになつてゐた。ヴィクトーリアは悲しかつた。そして父親が戀しかつた。彼女は家を出て父親と一緒に暮さうと決心して、秘かに身の廻りの品を鞄につめ、自轉車で港へ行つた。だが父が乘つた船は出帆した後だつたので、彼女は弟がエームズから借りてゐるモーター・ボートに乘つて、嵐を前にして波うつ海へ父の船を追つて出た。

　しかしその船にはマックは乘つてゐなかつたのだ。彼は乘船間際に、息子のマーティンが港の不良少年と喧嘩してゐることを知り、それを止めに行つて船に間に合はなかつたのだ。彼は息子を救つた後で、ヴィクトーリアが、船を追つて海へ出た事を聞き、危險を感じてマーティンと共に漁船に乘つて、娘の後を追つた。海は荒れてゐた。小さいモーター・ボートから放り出されて溺れさうになつてゐる娘を、マックは海に飛びこんで助けることが出來た。波止場へ歸ると、そこには急を聞いて驅けつけたマージョリーが待つてゐた。マックは皆に勸められる儘に娘を送つてマージョリーの家へ行つた。マージョリーの氣持は今ははつきりしてゐた。彼女はエームズに對して眞實を告げ婚約を解消して貰つた。その夜子供達の前でマックとマージョリーが照れたやうにだが嬉しさうに抱き合ふ姿が見られた。

　それから數日後、ヴィクトーリアは、ハーモニカのバンドと父親のピアノの伴奏で、放送局のマイクロフォンの前で、心から樂しく父の歌を歌つた。觀客席にある母の顏が幸福さうに微笑んでゐた。

ユニヴアーサル映画

疑惑の影

Shadow of a Doubt

製作……ジヤツク・スカボール
原作……ゴードン・マクドネル
監督……アルフレッド・ヒツチコツク
撮影監督……ジョーゼフ・ヴアレンタイン

Cast

ヤング・チヤーリイ……テレサ・ライト
アンクル・チヤーリイ　ジョーゼフ・コツトン
ジヤツク・グラハム……マクドナルド・ケリー
ジョーゼフ・ニユートン……ヘンリイ・トラヴアース
エムマ・ニユートン……パトリシア・コリンヂ
ハービイ・ホウキンス……ヒユーム・クローニン
フレツド・サンダース……ウアーレス・フオード
アン・ニユートン……エドナ・メイ・ワナコツト
ロージヤー・ニユートン……チヤールズ・ベーツ

解說　ジャック・スカボール一九四二年度作品。原作は、**ゴードン・マクドネル**、脚色はソーントン・ワイルダー、サリー・ベンスン、アルマ・レヴィルの三人。監督はアカデミイ賞授賞作品「レベッカ」の**アルフレッド・ヒッチコック**で彼は「三十九夜」「淑女失踪」「外國特派員」「スミス氏夫妻」及び四一年度アカデミイ女優演技賞（ジョーン・フォンテーン）を受けた「疑惑」を演出し、その後「救命艇」及び昨年の問題作「スペルバウンド」等を監督した當代一流の大家である。撮影監督はジョーゼフ・ヴァレンタイン、編輯はミルトン・カーラス。主演の**テレサ・ライト**は日本へ初めて紹介される新人で舞臺出身、「小さい狐」で映画に初出演し、「ミネヴァー夫人」では四一年度のアカデミイ助演女優賞を受け、又「ヤンキーの誇り」及び「カサノヴァ・ブラウン」ではゲーリイ・クーパーと共演した。**ジョーゼフ・コットン**は「戀の十日間」で紹介済み。「市民ケーン」「リディア」「ガス燈」「あなたが去つてから」「ラヴレター」等に出演し現在益々人氣を勝ち得てゐる。マクドナルド・ケリーは舞臺及び放送劇の俳優だつたが、「ウェーク島」で初めて映画に出演した。傍役のヘンリー・トラヴアースとウァーレス・フォードは古い俳優である。

梗概　チャールズ・オークリイ（アンクル・チャーリイ）は警察の手が身近に迫つて來てゐるのを知つてゐた。今の中に安全な處へ身を隠すために尾行する探偵をまいて外出して、加州サンタ・ローザに嫁いでゐる姉のエムマの所へ、近く訪問すると電報を打つた。

　姉の嫁ぎ先のニュートン家では長女のチャーリイが沈滯した家庭の空氣を生々とさせるためには、誰か外部の者が來てくれるのが一番だと思ひ、チャーリイ叔父さんに來て貰はうと考へてゐたところへ、當の叔父から電報が來たので好都合なのに大喜びだつた。彼女が父と妹のアンと弟のロージャーと一緒に停車場へ出迎えに行くと病人らしい男が降りて來た。それはチャーリイ叔父さんだつた。彼は高飛びの途中病人を裝つて來たのだが、出迎えの一家を見ると元氣な足取りで近寄つて來た。

　一家はチャーリイ叔父さんを中心に賑かになつた。チャーリイも嬉しかつたが、それよりも久し振りの弟を迎えた母のエムマの喜び方に誰にもましてゐた。叔父は家族に贈物を呉れた。チャーリイににエメラルドの指輪だつた。だがその指輪の裏には「B・MよりT・Sへ」と誰かの頭文字が彫られてあつた。叔父は寶石商が間違へて賣つたのだと云つた。

　人口一萬五千の小さな町のこととて、チャーリイ叔父の噂は町中に擴がつた。彼は東部から來た教養のある金持だと見られてゐた。そして彼が姉の夫ジョーゼフの勤めてゐる銀行に現金で四萬弗も預金したことが噂に上り、婦人會か



Charles Boyer

いつも瀟洒な**シャルル・ボアイエ**……偶然にもフランス生れの彼がフランスの生んだ巨匠デュヴィヴィエの監督下に主演した作品が二本續けて封切られた。この他ベルクマンと共演した「ガス燈」、バコールと共演した「秘密特派員」、ルビッチの監督で主演した「クルニー・ブラウン」、更にベルクマンと共演になる新作「凱旋門」(マイルストン監督)等々、見たい映画は澤山ある。



Ray Milland

漸く芽の出たレイ・ミランド……あのビング・クロスビーが「我が道を往く」で俄然男を揚げたやうに、彼と同じパラマウントで、格別これといつた取柄もなく、大根的存在であつた彼が、「失はれた週末」に主演して45年アカデミー男優演技賞の覇者となつて以来一躍ヘッド・ラインに躍り出た。今では堂々たるスターである。近くデイトリッヒと共演映画をとることになつてゐる。

新人はお好き イオヌ

Clark Gable

いつもがつちりしたクラーク・ゲーブル……船乗りに女は附きもの。浮氣はその日の出來心、港々に女あり——といふのが復員第一回主演映画「冒険」における彼の役である。けだし彼には打つてつけの役といへるだらう。その彼が、グリア・ガースンといふまるで肌の違つた女性と戀をする。この二人のラヴ・シーンが素いらしい。粗野なゲーブルと理性的なガースンとの取り合せは楽しみものだらう。



薄いクリームかストーン・グレイといはれるものに濃いブルーをあしらつたアクセントに富むもの。リボン・手袋・ネックラインを同色にした調和のとれたアイデア。胸の飾りは金か銀。モデルはアン・サザーン。





一歩誤まるとヤボに轉落するディザイン。生地の選擇・仕立の巧妙・着る人の三者がうまくマッチしないと危險。胸にこのやうなギャザをいれる傾向は多く見られる。スカートのヒダの線・でも飾り釦・ベルト・コートの合せ目が一點に集つてゐる點も注目される。モデルはRKO映画「ステップ・ライヴリー」でフランク・シナトラの相手役を演じてゐる歌手出身のアン・ジェフレイス。

オッフィスに働く女性のスーツ。グレイ、薄いグリーン、又はライト・ブルーのウールで。ケバケバしいものはオッフィスには不向きである。新しい型のダブルで、ポケットが一つもない。モデルは「緑のそよ風」でヴァイオラに扮したフランシス・ギッフォード。



Fas

フアッシヨン・ノート　石原裕市郎

美を探求するこゝろ……
美を憧がれるこゝろ……
美を愛するこゝろ……
美を賞するこゝろ……

☆FASHIONといふものは不思議なもので、龍が雲を呼ぶ如く若い女性がまず最も敏感にこれを呼びよせる。スカートが短くなつたり、長くなつたり、縞が愛されたり、無地が喜ばれたりする。今次の大戦が怒ると、忽ち太平洋の向ふ側から「VOGUE雲」をよんだのは日本の若いイヴたちである。あちらで流行するものを忽ち取りいれる進取的な所はいゝが、考へやうによると、心の重くない證據のやうな感がする。それは、自分の裡から出ず、他から出るのである。自分が主とならないで、他が主となつてゐる。アメリカは個性を尊重する。如何にFASHIONといへ、個性のないものには敬意を表しない。別の言葉でいへば、PERSONALITYを持たないものは見むきもされない。それには、自分の裡に泉を持たなければならぬのである。滾々と湧き出る「個性美」を持つてこそ、生きた機能をもつVOGUEである。MODEのみ見て、その根を見ず、たゞ目前に現れたものだけを眞似するのは「あわてもの」である。あわてるクセがつくと、美の神ミューズを捕へることが出來ない。このくせがつくと、生きたFASHIONでなく、FASHIONに似たものしか出來ない。

（筆者放送局渉外部對米放送連絡員）



縞は今秋もアメリカ流行界に君臨してゐる。巧みな縞の扱ひ方がこのワンピースによく表現され、胸部やベルトのディザインに新しい傾向が見える。サイド・ポケットに注意して頂きたい。縞の色は灰、赤、緑、黒が流行色となつてゐる。モデルは「運命の饗宴」に出演、ジャルル・ボアイエの戀人に扮して妖しい魅力を見せたリタ・ヘイワース。



縞の生きたディザインである。直線の魔術師のやうな機能は胸線に、そして又、腰線に上品なアクセントを與へてゐる。コートのポケットの位置、たつた一つの大きなボタンの位置、いづれも効果的である。ヴェイルの醸し出す雰圍氣も知つて頂きたい。モデルはジョン・フォード監督の新作「彼等は消耗品」、フランク・キャプラ監督の新作「素晴らしき人生」に出演してゐるドンナ・リード。

hion★Note

この小屋が結構儲かつたので、一家のものはニウキャッスルへ集まつて來た。二番目のジャックはその前から唄が巧いので藝人に成つて居たが、この小屋で幕間に姉のローズのピアノ伴奏で歌を唄つた。ローズはピアノを彈くほかに切符賣りを勤めた。兄のハリーはピッツバーグで映画の借入れを擔當したが、これが後に彼が配給に興味を持つやうに成る動機と成つた。

ハリウッドへ進出

一九一六年、彼等は小さいハリウッドの撮影所を借りた。サムとジャックが製作を擔當し、アルバートが販賣を受持ち、ハリーが社長に納まつた。勿論小規模な製作で數年間は問題に成る様な作品も作れなかつたが、初期のワーナー映画で認められたのは**一九一七年**にアメリカの駐獨大使であつたジェームズ・ジェラードの手記に基いて作られた「我が滯獨四年」と云ふ映画であつた。

ワーナーが頭角を現したのは舞臺の名優**ジョン・バリモア**を契約し、獨逸から來てメエリー・ピックフォードの「ロジタ」を監督した**エルンスト・ルービッチ**を契約してからである。この頃ワーナーのスターにはリン・ティン・ティンと云ふ名犬も居た。當時は丁度無聲映画の黄金時代で、ワーナーから**「本町通り」「海の野獸」「ウインダミア夫人の扇」「三人の女性」「結婚哲學」「陽氣な巴里つ子」**と云ふ様な傑作が續々と生れた。

一九二五年には四百萬弗の社債を發行して經濟的の基礎を固め、當時六千の顧客を持つて居たヴァイタグラフの配給組織を買收した。そしてハリウッドにラヂオ放送局を設置する事に成つたが、この時技術家として派遣されて來たのがネイザン・レヴィンスンと云ふラヂオ技師であつた。（現在彼はワーナーの錄音部長である）

映画が喋る！

レヴィンスンは紐育でウェスタン・エレクトリック社が實驗して居たフィルムに音を同時錄音する方法を見て、これに興味を持つて居たが、この實驗は全面的に各映画會社から反對されて居た。その頃レヴィンスンの話に耳を傾けたのはサム・ワーナーだけであつた。遂にサムはレヴィンスンと共に紐育へ來て、ウェスタン・エレクトリック社を訪ねて實驗を見學し、それをハリーとアルバートにも見せる事にした。音の出るフィルムを見せると云つたのでは、ハリーが反對する事は判つて居るので、サムは只何となく試寫を見せると云つて兄たちを試寫室へ連れ込んだ。やがて試寫が始まつた。ハリーは何も云はずに画面を見て居る。オーケストラの演奏がスクリーンに映つた時、ハリーは立上つて叫んだ。

「これが皆の氣に入らなかつたのは當然だ！　ショーマンシップがない！　一番良い樂團の一番良い音樂を聞かせれば、客は必ず飛びつく！」

・ウェスタン・エレクトリックはアメリカ電話會社の子會社で、電話に利用しようとして錄音を研究して居たのだから、娯樂としてのトーキーを作つて居たのではない。ショーマンシップ（興行術）を知らぬのは當り前である。

LITTLE HOLLYWOOD

ハリウッドに輝く英國のスター

霧ふかく立ちこめるロンドンを後に大西洋を渡り、オレンジの花咲く南キャリフォルニヤへ、そして五月の微風と青空の下に呼吸するハリウッドで活躍する英國系映画人は、既に相當の數を示してゐる。が、最近は更に又イギリスの女優が數多く進出、近着の米紙を見ると『英國女優ハリウッド侵入を開始』とセンセーショナルなヘッド・ラインをつけてゐる。英國の女優群がハリウッドでこのやうにカメラの前に立つてゐるのは、何故であらうか？　ロスアンゼルス・タイムスの演藝記者エドウイン・シャラート氏はいふ『單なる美しさだけではない、彼等の個性の故である』と。グレタ・ガルボに似た容貌を持ち、彼女にしばしば比較されてゐるのがアン・トッド Ann Todd である。トッドはカムプトン・ベネット監督の下に「第七のヴェイル」にジエムス・メースンと出演、好評を博して以來、現在はダヴィッド・セルズニックと契約を結んでゐる。尙、ベンネットはハリウッドで知られる前に英國でメガフォンを振り、近くロナルド・コールマン主演「シリアへ駐剳」を撮ることになつてゐる。

フィリス・キャルヴァト Phyllis Calvert も亦英人で、近くジョーン・クロフォードと共に、キャロル・リード監督による「忘れてゐる時間」に登場する。又、彼女とジエームス・メースン主演「彼等は姉妹」は、米國週刊大衆雜誌『リバティー』によつて、心理描寫をテーマとする映画のうちで、その高峰とも稱すべきものといはれてゐる。

英國の兵隊さんにピンナップ・ガールとされてゐたジーン・ケント Jean Kent も新しいスターとして輝き、前述のメースンと共に「ガス燈の傍のファニー」の撮影を慫つた。

この他、マーガレット・ロックウッド Margaret Lockwood やサリー・グレイ Sally Grey といふバレーの踊子として活躍してゐたソフィスティケイトな感覺を多分に持つ女優や、パトリシヤ・ロック Patricia Roc といふ豐頰で親しみ深い眼差しを持つ英國系女優もゐるが、ロスアンゼルス・タイムスのシャラート氏は『米國人は彼等にアッピールされてゐるし、今後更に多くの英國系新人がハリウッドに現れることを、期待してゐる』と語つてゐる。

夢はテクニカラー

超現派の畫家ダリーはいふ『普通人の見る夢はテクニカラーである』と。夢に色彩ありといふこの畫家の言葉が、映画によつて描き出されやうとしてゐる……チャールス・ヴィダーの手によつて。

ヴィダーは先頃封切られたアイダ・ルピノ主演「生きてゐる死骸」の監督で、この新しい企畫は彼の近作コロムビア映画「わが空しき心」の中にとりいれられてゐる。主演はロザリンド・ラッセルで、彼女の白晝夢が四つのテクニカラーとなつてスクリーンに現れる。ハリウッド映画の夢はダリーの「スペルバウンド」の中にある如く、至つてとりとめのないものであるが、とヴィダーは前置きして『夢とはいへ、意識の中に溶けこんでゐるものは現實的である』と主張、このため「我が空しき心」の撮影には特殊な裝置が考案され、撮影效果も特別な手法が使用されてゐる。

彼の說に從へば、夢の中の主要人物又は主要物件は判然としてゐるが、他のものはボンヤリしてゐる。で、この感じを表すため、夢の中に現れるナイト・クラブの場面では、次のやうなセットが作られた。即ち、セットの一番後方にモスリンのドロップを下げ、それにバー、椅子、人の影をシルエットの如く浮びあがらせ、その前方に、半透明のマットをぶらさげる。主演者はそのマットの更に前方にあるが、カメラと主演者の間には『セログラス』と呼ぶ透明な板を置き、フイルムに夢の感じを現はしてゐる。

島　照

When the Film Found Voice



ポーレット・ゴダード
Paulette Goddard「女中の日記」でバージェス・メレディスと共演したのが機縁となつて、今ではメレディス夫人である。

トーキー生れて二十年　桂井　信

by
Shin Katsurai

唖の映画に聲をもたらしたのはワーナー兄弟であつた。トーキーが生れるまでの挿話の數々ー

若い皆さんは、映画と云へば俳優が臺詞を喋り、美しい伴奏音樂がついて居るのが當然だとお考へに成るであらうが、映画がトーキーに成つたのは、僅か二十年前の事である。今年が丁度トーキー誕生の二十周年に當り、最初にトーキーを作つたワーナー・ブラザース社は、今年の八月盛大な二十周年記念祭を行つた。

この機會にトーキーが出來る迄のお話をするのも興味のある事であらうと思はれる。

四人の兄弟と映画

ワーナー兄弟の父ベンジャミンは、**一八八八年**ポーランドから移民としてアメリカに渡つて來た。彼は妻のパールと五人の子供たちを連れて、ボルティモアに落ちついた。その時長男のハリー（現在ワーナー・ブラザース映画會社社長）は九つで、末子のサムはやつと歩ける位の赤ん坊だつた。ハリーは新聞を賣つたり、靴磨きをして父親の手助けをした。それから十五年、一家はありとあらゆる仕事をした。**一九〇三年**には、ハリーはピッツバーグの百貨店で働き、弟のアルバートはスキフト會社の肉の販賣員、末弟のサムはエリー鐵道の消防夫に成つて居た。この年にエドウィン・ポーターが「**大列車強盗**」と云ふ二巻物の活劇をエディソンの爲に作つて居る。

サムはこの活劇を當時のニッケルオデオンと云ふ入場料五仙の活動寫眞小屋で見て、すつかり夢中に成り、消防夫を罷めて一週八弗の給料で映寫技師の助手に雇はれる事に成つた。そのうち中古の映寫機と「大列車強盗」のプリントが百五十弗で賣物に出たので、これを買つて自分で興行がして見たく成り、父親のところへ金を出してくれと頼みに行つた。父は「儲かるものなら持主が賣る筈はないぢやないか」と云つたものゝ、可愛い息子の熱心に動かされて、大切にして居た金時計を質に入れて百五十弗を作つてくれた。

この機械とフィルムを持つてサムは巡業を始めた。さうして最後にペンシルヴァニア州のニウ・キャッスルと云ふ町に、小さい貸ビルを見つけて、これを名前だけは堂々たるカスケードと云ふ小屋に改造した。**一九〇六年**のことである。定員は九十九人で、椅子は葬儀屋のを借りて來た。葬式のある日には、椅子が歸つて來るまで興行は中止と云ふ譯である。

ウエスターンと契約成る

一九二五年六月二十五日、ウェスターンとワーナーとは契約を結び、映画館の爲の音の研究を協力して行ふ事を約し、**翌二六年四月四日**にヴァイタフォン會社を創立した。東部の舊ヴァイタグラフ撮影所がトーキー撮影所として使用される事に成り、サム・ワーナーがキャメラマンを指揮し、ウェスターンのスタンレー・ワトキンスが錄音班を指揮して、愈々最初の本格的トーキーの製作が開始された。それが手狹に成つたので、舊マンハッタン・オペラ・ハウスも改造してスタジオにされ、ヘンリー・ハドリーの指揮する百七人の紐育フィルハーモニー管絃樂團の演奏、メトロポリタンのテノール、ジオサアンニ、マルティネリの獨唱、エルマンとジム・バリストのヴァイオリン獨奏、ハロルド・バウアノのピアノ獨奏、ウィル・ヘイスの挨拶などが同時録音で撮影された。その上にジョン・バリモア主演の「ドン・ファン」が伴奏と擬音を錄音され、**一九二六年八月六日**の夜、ブロードウェイのワーナー劇場で最初の公開が行はれたのである。最初にこの番組を見た科學者や興行者たちは奇蹟が起つたと云つて驚いたものだ然し他の映画會社の幹部たちは「なあにトーキーなんて一時の流行さ」と云つて特別の注意を拂はうともしなかつた



リタ・ヘイワース *Rita Hayworth* とろけるやうなあの魅力、ピンナップ・ガールとして彼女の人氣は素晴らしい。

偉なる哉、最初のトーキー

然しワーナー兄弟は絶對にトーキーの前途に確信を持つた。サムは**二七年の四月**にヴァイタフォーンの製作をハリウッドに移し、**アル・ジョルスン**を主役としてパート・トーキーの「**ジャズ・シンガー**」の製作を始めた。この映画は**二七年十月六日**に紐育のワーナー劇場で封切され、トーキー史上に一つのマイルストーンを打ち建てたが、サムは二年間の過勞が原因して急性肺炎を起し、十月五日の朝にハリウッドで死んだ。ハリー、ジャック、アルバートの三兄弟は末弟の病氣見舞に西部へ行つて居たので、「ジャズ・シンガー」の紐育封切には出席出來なかつた。

「ジャズ・シンガー」は果然大ヒットと成つて紐育で二十六週間と云ふ空前のロング・ランを記錄しその翌年の、**二八年七月六日**、ワーナーは**最初のオール・トーキー**「**紐育の灯**」を紐育のストランド劇場で封切り、こゝにトーキー開拓者たる位置を占めるに至り、他の會社もすべてトーキーの製作に乘出すことに成つたのである。

ヴァイタフォーンは、最初直徑十六吋のレコードを使用したが、ムーヴィートーンやフォトフォーンがフィルム式を採用したのに刺戟されて、程なくフィルム式に切替へた。今ではトーキーと云へばすべて皆フィルム式である。

本誌定價値上に就き謹告

製作資材その他騰貴の爲本誌定價四圓を本號より五圓に値上げの已むなきに至りました。甚だ突然であり誠に申譯なき次第ですが御了承願ひます。本誌の生命である美麗な雜誌、充實せる内容は飽迄も確保し、讀者諸賢の御支援に酬ひる所存です。

EDITOR'S NOTE

映画雜誌も澤山出たが、同じ仕事に携はつてゐる私達でさへ、恥しくなるやうな雜誌が多い。口や筆にもつともらしいことを說へてえらさうなことをいつても、それでは自分達のやつてゐる雜誌はどうかといふと、思ひ半ばにすぎるものがあるだらう。これでは反對に雜誌自體が馬鹿にされても仕方がない。編輯者はまづ自分の仕事を反省してみることだ。量よりは質、そして編輯者の頭と信念の問題だ。赤本的な映画雜誌は映画の敵だと私は思つてゐる。讀者もいい映画を選擇するのと同じやうに映画雜誌に對しても十分な鑑賞眼を働かせて欲しいと思ふ。(大黑)

アメリカ映画專門紹介誌
映画之友 11月號 第14卷・第8號 通卷第166號
昭和21年7月30日 第3種郵便物認可
昭和21年11月1日 印刷納本
昭和21年11月5日 發行
發行者 橘 弘一郎
編輯者 大黑東洋士
印刷者 小坂 孟
印刷所 大日本印刷株式會社
配給元 日本出版配給株式會社
東京都麴町區永田町2ノ1
發行所 映画世界社
直接購讀は半年分30圓 1年分60圓 小爲替にて御送金下さい。
本號一部金5圓(送料15錢)
★
編輯部への通信及び連絡は下記へ
銀座連絡事務所
東京都京橋區銀座8ノ2(出雲ビル)
映画世界社 電話銀座(57)1616
營業部への通信及び御用件はすべて永田町本社へ願ひます。

月三十日第三種郵便物認可　昭和二十一年十一月一日印刷納本　昭和二十一年十一月五日發行　第十四卷　第八號　通卷第百六十六號

C.M.P.E.

緑のそよ風
OUR VINES HAVE TENDER GRAPES
ロイ・ローランド監督
エドワード・ジー・ロビンソン
マーガレット・オブライエン 主演

感激の町
MEN OF BOYS TOWN
ノーマン・トウログ監督
スペンサー・トレーシイ
ミッキー・ルーニイ 主演

わが心の歌
ALWAYS IN MY HEART
ジョー・グレハム監督
ケイ・フランシス
ウオルター・ヒューストン 主演

小麥は緑
THE CORN IS GREEN
アーヴィング・ラパー監督
ベティ・デイヴィス主演

南部の人
THE SOUTHERNER
ジャン・ルノアール監督
ザカリイ・スカット
ベティ・フイールド 主演

疑惑の影
SHADOW OF A DOUBT
アルフレッド・ヒッチコック監督
テナサ・ライト
ジョセフ・コットン 主演



マーガレット・オブライエン

セントラル・モーション・ピクチュア・エクスチェンヂ

本號一部金五圓（送料十五錢）